

様式1「学部・学科によって、修了要件は相違する」場合は、本シートを複製の上く様式1-〇>と枝番号を付けてください

大学等名	東洋英和女学院大学
プログラム名	リベラルアーツのためのデータリテラシー(DaLLIA)

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

「基礎情報科学Ⅰ」+2単位、「基礎情報科学Ⅱ」+2単位、「データで読む社会」2単位の計4-6単位を履修すること。

必要最低科目数・単位数 3 科目 4.6 単位 履修必須の有無 令和9年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついているの内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
基礎情報科学Ⅰ	+2	○	○						
基礎情報科学Ⅱ	+2	○		○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データで読む社会	2	○	○						
基礎情報科学Ⅱ	+2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
基礎情報科学Ⅱ	+2	○	○	○					

⑦ 「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
基礎情報科学Ⅰ	+2	○	○	○					
基礎情報科学Ⅱ	+2	○	○						

⑧ 「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数値・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データで読む社会	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	<p>1-1 「ビッグデータ、IoT、AI、ロボット」 情報社会が「現在のAI・ビッグデータ・IoT・ロボットの現状と未来」(基礎情報科学Ⅰ)第1回)</p> <p>「第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会」 「情報社会(インターネット)は、情報化社会と生活への変化」:第4次産業革命とSociety5.0の理解、データ駆動型社会の実現に向けて(基礎情報科学Ⅰ)第6回)</p> <p>1-6 「AI駆動型社会の活用事例(調剤処方箋、個別化医療ネットワーク、職能学習、転機学習など)」 「AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、真島のレコメンデーションなど)」 「AIとはなにか? AIの活用と実践: AIの活用/さまざまなAIツール、AI最新技術の活用事例と派生する新しいビジネスモデルについて」(基礎情報科学Ⅱ)第9回)</p>
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	<p>1-2 「データ、実践データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど」 「社会から社会を動かす必要のあるデータ」分析とは何か、データとはどのような種類があるか【データで読む社会】第1回)</p> <p>「データ、実践データ、1次データ、2次データ、オープンデータ」 「データから社会を動かす」こと、様々なデータ、オープンデータ【データで読む社会】第1回)</p> <p>「様々なデータ・グラフ、表、図の読み方」【データで読む社会】第2回)</p> <p>「データの特性を読み取る」: 代表値、(真実)、人口データの読み取り【データで読む社会】第3回)</p> <p>「構造化データ、非構造化データ」 「AIとはなにか? AI・AIの活用」: ビッグデータ: 構造化データと非構造化データの違いとその活用事例(基礎情報科学Ⅱ)第8回)</p>
(3) 様々なデータ活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	<p>1-3 「データ・AI活用領域の広がりに(生活・消費・文化振興など)」 「AIとはなにか? AI・AIの活用」: 生活の中でのAI活用、身近な生活から考えるデータ・AI活用領域の広がり(基礎情報科学Ⅱ)第8回)</p> <p>1-4 「特化型AIと汎用AI、今のAIに出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ」 「AIとはなにか? AIの活用」: AIとビッグデータの活用した特化型AIと汎用AIの違いから考える今のAIに出来ることと出来ないこと(ChatGPT、画像生成AI、動画生成AI、音声生成AIなど)(基礎情報科学Ⅱ)第5回)</p> <p>1-5 「流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介」 「AIとはなにか? AIの活用と実践」: AIの活用/さまざまなAIツール、AI活用事例の紹介(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)におけるデータ活用を事例に(基礎情報科学Ⅱ)第9回)</p>

開講年度学期	2026年度前期	授業種別	対面
授業コード	1002507	曜日時限	火曜2限
授業名	基礎情報科学 I Eb【対】		
担当教員	藤田 光治		
単位数	2単位	配当年次	1年

テーマ・概要	卒業後の社会においてももちろん、学生生活においても情報を活用することが、ますます重要になりつつあります。本学では入学時に全員にコンピュータとインターネットを利用する個人識別記号を与え、自ら情報を活用する機会を与えています。基礎情報科学では、このコンピュータ環境を活かし、学内外の人々との活発なコミュニケーションを行ない、世界の情報を基にした学習・研究活動を実践するための基礎を学習します。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学のコンピュータの構成と使用規約、自己責任の重要さを理解する。 2. レポートを書くために必要なタイピングやWord用いた文章表現を行うことができる。 3. プレゼンテーションに必要なPowerPointを用いた資料の作成やインターネットを活用した情報検索を行うことができる。 4. 情報化社会で必要となる基礎知識と、それに伴う情報倫理を身に着け、データやAI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)を理解することができる。
学習内容・授業方法	<p>授業形態：対面授業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい指使いで大学生生活で必要となるタイピングスキルを習得します。 2. インターネットの活用方法と情報倫理について学習します。 3. WordやPowerPointの機能を学習し、文章による自己表現を工夫する。大学でレポートを書くときやプレゼンテーションを行う際に必要なスキルを身につけます。

対面授業でのオンデマンド授業回の実施について	※対面授業でも一部オンデマンドで授業を実施する場合があります。
オンデマンド授業実施の有無	オンデマンド授業回 なし
オンデマンド授業実施の目的と教育効果	
教員の実務経験・授業への活かし方	

成績評価の方法・基準	
※注意：出席していれば単位が修得できるものではありません。	※出席した上で、下記の評価方法・基準に基づき成績評価されます。
評価方法・基準	<p>授業内課題…20%、レポート課題…30%、学期末試験…50%</p> <p>シラバスに記載されたレポート以外に、担当者の指示したレポートも加わります。</p> <p>欠席が4回以上、レポート課題未提出、タイピングテストの結果が一定基準に達しない場合のいずれかに該当するときは原則不合格になります。</p> <p>また、第16週目に前期の学習内容に関する学期末試験を実施します。</p>

履修者への要望	<p>この授業は情報リテラシーの基礎の内容から扱います。</p> <p>授業や課題などには積極的に取り組むようにしてください。</p> <p>また、コンピュータ教室での飲食は禁止となっているため、ご注意ください。</p>
履修条件（人数制限・抽選等）	全学必修科目かつ、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定科目です。事前に割り当てられたクラスで履修してください。

教科書	<p>・藤田光治, 柳沢昌義 共著 『基礎情報科学 2026・2027年度版』 ムイスリ出版社 2026</p> <p>・リベラルアーツで学ぶ情報倫理—大学生が知っておきたいAIの基礎知識— ムイスリ出版社 2025</p> <p>参考：本学図書館蔵書検索OPACリンク https://libweb.toyoeiwa.ac.jp/drupal/</p>
参考書	<p>授業中に適宜紹介します。</p> <p>参考：本学図書館蔵書検索OPACリンク https://libweb.toyoeiwa.ac.jp/drupal/</p>
参考URL	

授業時間外の学習（予習復習）	<p>タイピングの練習方法について授業中に説明しますが、練習は、学内・自宅での自習になります。</p> <p>また、授業時にレポート課題が出された場合には、忘れないように提出してください。</p> <p>期末試験もありますので、学習した内容は復習するようにしてください。</p>
----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
第1回	情報について考える 年間授業計画／情報とは何か／パスワード（第1章）
第2回	タッチタイプ（第2章）

第3回	ファイルとフォルダ1…Windowsの理解/ファイル/フォルダ/拡張子 (第3章)
第4回	Wordの基礎…文字入力/文章作成の手順を理解/ファイルの保存 (第4章)
第5回	PowerPointの基礎…ファイルの作成と手順の理解/ファイルの作成/ファイルの保存 (第5章)
第6回	情報化社会…インターネットとは/情報化社会と生活への変化 (第6章)
第7回	情報倫理…情報化社会とセキュリティ (第7章)
第8回	情報検索とその活用…検索エンジンによる情報の絞込み (第8章)
第9回	電子メールの管理…メールの機能の管理 (第9章)
第10回	Wordの応用1…編集/ファイルの保存・呼び出し (第10章) ※タイピングテスト第1回
第11回	Wordの応用2…文書のレイアウト (第11章) ※タイピングテスト第2回
第12回	Wordの応用3…著作権 (第12章) ※タイピングテスト第3回
第13回	Wordの応用4…英文レイアウト (第13章) ※タイピングテスト第4回
第14回	総合演習1…授業内容のまとめ ※タイピングテスト第5回
第15回	総合演習2…編集機能を使ったレポート
備考	※このシラバスは1年生を対象とした「基礎情報科学I」のすべてのクラスに共通です。 ※詳しいクラスのルールは、初回授業時に担当教員の説明を聞いてください。

開講年度学期	2026年度後期	授業種別	対面
授業コード	1002607	曜日時限	火曜2限
授業名	基礎情報科学 II Eb【対】		
担当教員	藤田 光治		
単位数	2単位	配当年次	1年

テーマ・概要	卒業後の社会においてももちろん、学生生活においても情報を活用することが、ますます重要になりつつあります。本学では入学時に全員にコンピュータとインターネットを利用する個人識別記号を与え、自ら情報を活用する機会を与えています。基礎情報科学では、このコンピュータ環境を活かし、学内外の人々との活発なコミュニケーションを行ない、世界の情報を基にした学習・研究活動を実践するための基礎を学習します。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> Excelを活用して数表やグラフを含んだレポートを作成することができる。 デジタルとアナログの違いやフォルダーの構造など、パソコンの基本的な原理や仕組みについて理解する。 AIの歴史とそれに伴う様々なサービスの活用事例を学び、利活用する方法を理解することができる。
学習内容・授業方法	<p>授業形態：対面授業</p> <ol style="list-style-type: none"> 表計算の代表である Microsoft Excelの使い方の基礎を一通り学びます。 ハードウェア・ソフトウェアについて理解し、コンピュータの基本的な原理を学びます。 AIの歴史を学び、実践的な活用方法を学びます。 情報の単位、2進数・10進数・16進数の仕組み、文字コード、音声や画像の表現方法を学びます。

対面授業でのオンデマンド授業回の実施について	※対面授業でも一部オンデマンドで授業を実施する場合があります。
オンデマンド授業実施の有無	オンデマンド授業回 なし
オンデマンド授業実施の目的と教育効果	
教員の実務経験・授業への活かし方	

成績評価の方法・基準	
※注意：出席していれば単位が修得できるものではありません。	※出席した上で、下記の評価方法・基準に基づき成績評価されます。

評価方法・基準	<p>授業内課題…20%、レポート課題…30%、学期末試験…50%</p> <p>シラバスに記載されたレポート以外に担当者の指示したレポートも加わります。</p> <p>欠席が4回以上、レポート課題未提出のいずれかに該当するときは原則不合格になります。</p> <p>また、後期末に学習内容に関する学期末試験を実施します（16週目に定期試験を実施します）。</p>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

履修者への要望	<p>この授業は情報リテラシーの基礎の内容から扱います。</p> <p>授業や課題などには積極的に取り組むようにしてください。</p> <p>また、コンピュータ教室での飲食は禁止となっているため、ご注意ください。</p>
履修条件（人数制限・抽選等）	全学必修科目かつ、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定科目です。事前に割り当てられたクラスで履修してください。

教科書	<p>・藤田光治, 柳沢昌義 共著 『基礎情報科学 2026・2027年度版』 ムイスリ出版社 2026</p> <p>・「リベラルアーツで学ぶ情報倫理—大学生が知っておきたいAIの基礎知識—」 ムイスリ出版社 2025</p> <p>参考：本学図書館蔵書検索OPACリンク https://libweb.toyoeiwa.ac.jp/drupal/</p>
参考書	<p>授業中に適宜紹介します。</p> <p>参考：本学図書館蔵書検索OPACリンク https://libweb.toyoeiwa.ac.jp/drupal/</p>
参考URL	

授業時間外の学習（予習復習）	<p>授業時にレポート課題が出された場合には、忘れないように提出してください。</p> <p>期末試験もありますので、学習した内容は復習するようにしてください。</p>
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
第1回	Excel 1… データ入力と計算式（テキスト14章）
第2回	Excel 2… 関数の理解／グラフの理解（テキスト15章）
第3回	Excel 3… 表とグラフの作成（テキスト16章）

第4回	Excel 4… シミュレーション、演習課題の提出 (第17章)
第5回	パソコンの仕組み1…コンピュータの動作原理/ハードウェア (テキスト18章)
第6回	パソコンの仕組み2…コンピュータの動作原理/OS、ソフトウェア (テキスト19章)
第7回	ファイルとフォルダ2…ファイル/拡張子/フォルダ/木構造 (テキスト20章)
第8回	AI…AIの歴史/ビックデータ (テキスト21章)
第9回	AIの活用… AIの広がり/さまざまなAIツール (テキスト22章)
第10回	デジタル…数のデジタル化 (テキスト23章)
第11回	文字のデジタル化…ASCIIコード (テキスト24章)
第12回	日本語とファイルサイズ…日本語コード/ファイルサイズ (テキスト25章)
第13回	画像と音のデジタル化…デジタル化/通信 (テキスト26章)
第14回	総合演習1…授業内容のまとめ
第15回	総合演習2…数表とグラフ
備考	※このシラバスは1年生を対象とした「基礎情報科学II」のすべてのクラスに共通です。 ※詳しいクラスのルールは、初回授業時に担当教員の説明を聞いてください。

開講年度学期	2026年度前期	授業種別	対面
授業コード	1025100	曜日時限	月曜3限
授業名	データで読む社会 【対】		
担当教員	山本 直子		
単位数	2単位	配当年次	2年

テーマ・概要	私たちが暮らす社会には、人口推移、就業率、企業の売上高データ、外国人人口、子どもの貧困率、感染者数など、様々なデータが溢れています。こうしたデータを正しく読み取ることができる能力は、今後ますます重要になってきます。本授業では、幅広い分野からの多様な資料をもとに、統計資料の読み方を学習します。基礎統計量の意味や分析手法を理解することにより、データを正しく理解し、活用することができる能力を養います。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	本授業の目的は、公的統計や白書、調査報告書、新聞、フィールドワーク論文などのデータを正しく読み取り、分析できるようになるための基礎的な知識を身に付けることです。 具体的な到達目標は以下のとおりです。 ①社会にある主たる統計データの種類と調査方法を理解する。 ②公的統計や各種調査報告書などを正しく読み解くための、データに関する基礎知識を習得する。 ③クロス集計や相関・因果など、データ分析の手法を学び、使えるようになる。 ④データ分析を軸とした客観的で論理的なレポートを書けるようになる。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習内容・授業方法	この授業は対面で実施します。 1) 社会にある主たる統計データの読み方を学び、事象に対する理解を深めます。さらに、そこから特徴を掴んで問題点を検討する練習をします。 2) 単純集計・クロス集計・度数分布・基礎統計量・相関係数などの記述データやグラフの読み方、及び、それらの分析方法や作成の仕方を学びます。また、相関と因果の違いを学びます。 3) アンケート調査、インタビュー調査など、自分でデータを取得して分析する方法を学びます。 4) 授業では、実際にデータ分析をしてレポートを多く書きます。それにより、データから論理的に説明する能力を身に着けます。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

対面授業でのオンデマンド授業回の実施について	※対面授業でも一部オンデマンドで授業を実施する場合があります。
------------------------	---------------------------------

オンデマンド授業実施の有無	オンデマンド授業回 なし
---------------	--------------

オンデマンド授業実施の目的と教育効果	
--------------------	--

教員の実務経験・授業への活かし方	
------------------	--

成績評価の方法・基準	
※注意：出席していれば単位が修得できるものではありません。	※出席した上で、下記の評価方法・基準に基づき成績評価されます。

評価方法・基準	授業内で出される課題が評価対象です。 毎回の授業で課題を出します。
---------	--------------------------------------

履修者への要望	・授業や課題では、PCを利用して分析を行います。 ・授業内でExcelを使用します。高度なスキルを前提とはしませんが、最低限の操作（起動方法・数値入力方法・四則演算方法など）は事前に覚えておいてください。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

履修条件（人数制限・抽選等）	・この授業は、社会調査士の資格を取るためのカリキュラムのうち、「C 基本的な資料とデータの分析に関する科目」に該当します。 ・「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の指定科目になっています。
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

教科書	
-----	--

参考書	参考：本学図書館蔵書検索OPACリンク https://libweb.toyoeiwa.ac.jp/drupal/
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考URL	
-------	--

授業時間外の学習（予習復習）	本授業では、演習や課題にも多く取り組んでもらう予定です。 出される課題には、授業時間外にも取り組んでいただく必要があります。
----------------	-------------------------------------------------------------------

授業計画	
第1回	ガイダンス：データから社会を読むということ 社会の様々な場面で利用されているデータを実際に見ながら、データを「読む」ことの必要性について学びます。また、世の中に様々なオープンデータがあること、その利用方法を学びます。

第2回	様々なデータ・グラフ： データを示すときに使われる様々な種類のグラフについて、その特徴や読み取り方、作成方法、効果的な使い方を学びます。 新聞や論文などで実際に使われているグラフを探し、特徴や効果を考えてみます。
第3回	データの特徴を読み取る①：代表値 単純集計、度数分布について学びます。代表値、中央値、平均値、最頻値といったデータを読み取るために必要な基礎的知識を確認し、それぞれどのようなデータで、どう使われているのかを学びます。 実際のデータを利用して、地域の人口に関する情報から地域の特徴を読み取ってみます。
第4回	データの特徴を読み取る②：散布度 標準偏差、分散を理解し、データの全体的な特徴を把握する方法を学びます。 実際のデータでExcelを用いて、標準偏差、分散を算出しグラフ化します。
第5回	関連を読み取る①：相関と因果 相関と因果の違いについて学びます。 実際のデータや事例を用いて、正しく相関と因果を考えられるようにします。
第6回	関連を読み取る②：相関係数 相関係数と散布図について学び、実際のデータでExcelを用いて相関係数を算出し、グラフ化します。 実際の調査報告書から相関関係を正しく読み取る方法を学びます。
第7回	データに惑わされない：疑似相関 疑似相関、バイアスなど、陥りがちな落とし穴に気を付けてデータを読む方法を学びます。 実際の事例から、疑似相関を検討します。
第8回	クロス分析①：クロス集計表 傾向や関係性を知るのに有効なクロス集計の、概念と手法を学びます。実際のデータや事例を用いて、正しくクロス集計を読み取る方法を学びます。 実際の調査報告書から、男女別、年齢別の就業状況をクロス集計から正しく読み取る方法を習得します。
第9回	クロス分析②：分析と検定 演習：実際のデータでExcelを用いてクロス分析、検定を行います。
第10回	クロス分析③：結果の可視化 演習：クロス分析の結果をグラフ化し、効果的に結果を示す方法を学びます。
第11回	データを説明する① 論文や調査報告書から、データを正しく読み取り、説明する方法を学びます。
第12回	データを説明する② 様々なデータを見て、その背景や意味を理解し、他者に効果的に説明する方法を学びます。
第13回	質的データ アンケート調査とインタビュー調査方法を学びます。 質的な調査の結果をどのようにデータとして示すことができるのかを実際の事例から学びます。
第14回	量的データと質的データの関係 一つのテーマについて、質的・量的の両面からデータを見ることの重要性を学びます。 社会の状況を、量的データと質的データの両方から検討してみます。
第15回	まとめ 授業の振り返りとまとめ
備考	

臨床心理コース

臨床心理コースの特長

○公認心理師・臨床心理士の資格取得やこころのケアのエキスパートを目指す

心理学にはさまざまな領域があり、中でも人を心理面で支援する臨床心理学は非常に重要な分野です。本コースでは、人が悩むこと、苦しむことについて、原因と意味を探り、「こころの回復」を支援するための専門知識と技法を実践的に学びます。公認心理師や臨床心理士の資格取得を目指す人だけでなく、こころのケアのエキスパートとして自分らしく人々を支えたい人にも向いています。

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

総合心理学科臨床心理コースは、学部共通科目30単位、学科専門科目70単位、自由選択科目24単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	30	必修 18 選択必修 4 選択 8	※選択科目は共通資格科目を除いて8単位必要
学科専門科目	70	必修 26 選択必修 28 選択 16	
自由選択科目	24	・ 学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・ 共通資格科目からは14単位まで算入することができます。	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎総合心理学科 臨床心理コース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	基礎科目 キリスト教	キリスト教概論	2	◎	1		このうちから 2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2		
		旧約聖書	2	▽	2		
		新約聖書	2	▽	2		
		東洋英和の歴史	2	▽	2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1		
	ライフデザイン ・ウエルネス科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2		1		
		スポーツ科学A	1		1		
	スポーツ科学B	1		1			
	スポーツ科学C	1		1			
	情報メディア科目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1		
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
	メディア演習C	2		2	△		
	コミュニケーション スキルズ科目	Freshman English AⅠ	1	◎	1		
		Freshman English AⅡ	1	◎	1		
		Freshman English BⅠ	1	◎	1		
		Freshman English BⅡ	1	◎	1		
		Sophomore English AⅠ	1	◎	2		
		Sophomore English AⅡ	1	◎	2		
		Sophomore English BⅠ	1	◎	2		
		Sophomore English BⅡ	1	◎	2		
		フランス語(ベーシック)Ⅰ	2		1		
フランス語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
フランス語(アドバンス)		2		1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
ドイツ語(アドバンス)		2		1			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
スペイン語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
スペイン語(アドバンス)		2		1			
中国語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
中国語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
中国語(アドバンス)		2		1			
韓国語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
韓国語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
韓国語(アドバンス)		2		1			
手話(ベーシック)Ⅰ	2		1				
手話(ベーシック)Ⅱ	2		1				
手話(アドバンス)	2		1				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

ベーシックについては
原則Ⅰ・Ⅱを同一年度
に履修すること

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修 制限	備考	
学部 共通科目	コミュニケーション スキルズ 科目	TOEIC対策講座	1	▽	2		※1 4年生は履修 できない場合がある このうちから 2単位を選択
		海外英語実習	2	▽	1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2	▽	2		
		English for Communication and Discussion	2	▽	2		
		Presenting in English	2	▽	3		
		English for World Affairs	2	▽	2		
		English for Tourism	2	▽	2		
		English for Business	2	▽	2		
		English for Journalism	2	▽	2		
		Airline English	2	▽	2		
		Psychology in Romance Movies	2	▽	2		
		Culture and History through Movies	2	▽	2		
		Exploring Novels through Movies	2	▽	2		
		English in Pop Culture	2	▽	1		
		English through Music	2	▽	1		
		コミュニケーションのための韓国語	2		2		
		ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		
	留学のための韓国語	2		2			
	日本語A I	1		1	※2		
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	共通 教養 科目	日本国憲法	2		1		※2 留学生および それに準ずると 大学が認めた者 のみ履修可
		哲学概論	2		2		
		倫理と人権	2		1		
		健康心理学	2		2		
		教養のための歴史	2		1		
		生命と人間の歴史	2		2		
		教養のための自然科学	2		1		
		教養のための芸術A	2		1		
	教養のための芸術B	2		1			
アク ティ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 科 目	フィールドワークA	2		2	△	※1 4年生は履修 できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2		2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
歴史文化研修B	2		2	△			
インターンシップ	2		2	△			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単 位	必 修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履 修 制 限	備 考	
学部 共通 科目	教養科目（子ども教育学科オープン科目）	キリスト教人間形成論	2		3		※4年生は履修 できない場合がある
		キリスト教保育	2		3		
		教育思想史	2		1		
		保育教育原理	2		1		
		保育者論	2		1		
		子ども家庭支援論	2		2		
		社会福祉	2		1		
		社会的養護Ⅰ	2		2		
		子ども家庭支援の心理学	2		3		
		子どもの心理と発達Ⅰ	2		2		
		幼児の理解と教育の方法	2		2		
		乳児保育Ⅰ	2		2		
		子ども家庭福祉	2		1		
		子どもソーシャルワーク	2		3	△	
		インクルーシブ教育	2		3		
		子どもと自然	2		2		
		世界の子どもの教育	2		2		
		子どもと国際社会	2		2		
		Speaking English with Children	2		3		
		子どもの感性とアート	2		2		
		子どものアートとサイエンス	2		3		
		子どもと文化	2		2		
		アートプロジェクト論	2		2		
		あそびと創造のデザイン学	2		2		
		子どもとバフォーミングアーツ	2		2		
		子どもフィールドワークA	2		3	△※	
	子どもフィールドワークB	2		3			
	子どもフィールドワークC	2		2	△※		
	教養科目（国際学科オープン科目）	法学	2		1		
		国際関係入門	2		1		
		政治学	2		1		
		マクロ経済学	2		1		
		ミクロ経済学	2		1		
		ニュースを読む	2		2		
		国際社会学	2		1		
		多様性の社会思想	2		1		
宗教と国際社会		2		2			
異文化間コミュニケーション入門		2		1			
グローバル時代のコミュニケーション		2		2			
グローバル化と文化		2		2			
北米入門		2		1			
現代の北米		2		2			
ヨーロッパ・EU入門		2		1			
現代のヨーロッパ・EU		2		2			
北東アジア入門		2		1			
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア	2		2				
グローバルサウス論	2		2				
日本文化入門B	2		1				
ホスピタリティ論	2		2				
韓国の社会と文化	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単 位	必 修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履 修 制 限	備 考	
教養科目（国際学科オープン科目）	英語学概論A	2		2			
	英語学概論B	2		2			
	英語文学入門A	2		1			
	英語文学入門B	2		1			
	英語児童文学	2		1			
	英語で紹介する日本A	2		1			
	英語で紹介する日本B	2		1			
	第二言語習得概論Ⅰ	2		2			
	第二言語習得概論Ⅱ	2		2			
	English for Study Abroad A	2		1			
	English for Study Abroad B	2		1			
	English as an International Language	2		2			
	English for Integrated Learning Ⅰ	2		2			
	English for Integrated Learning Ⅱ	2		2			
	Education around the World	2		2			
	English for Intercultural Understanding	2		2			
	留学準備講座	2		2	※		
	学部共通科目 共通資格科目	博物館概論	2		2	△	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能（学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可）
		博物館資料論	2		2	△	
		博物館資料保存論	2		2	△	
博物館教育論		2		2	△		
博物館情報・メディア論		2		2	△		
博物館経営論		2		2	△		
博物館展示論		2		2			
博物館実習Ⅰ		1		3	☆		
博物館実習Ⅱ		2		3	☆		
生涯学習概論		2		2			
生活のなかの図書館		2		1			
図書館情報技術論		2		2	☆		
図書館制度・経営論		2		3	☆		
生涯学習社会と図書館サービス		2		2			
情報サービス論		2		3	☆		
情報資源組織論		2		3	☆		
情報資源組織演習Ⅰ		1		3	☆		
情報資源組織演習Ⅱ		1		3	☆		
子どもの読書支援		2		3			
情報サービス演習Ⅰ		1		3	☆		
情報サービス演習Ⅱ		1		3	☆		
図書館の比較文化論		2		2			
図書館情報資源概論		2		2			
図書・図書館史		2		1			
図書館情報資源特論		2		2			
社会調査の基礎		2		1			
社会調査法		2		1			
データで読む社会		2		2			
統計学		2		2			
フィールド調査法		2		2			
社会調査演習Ⅰ		2		3			
社会調査演習Ⅱ		2		3			
日本語教育法AⅠ	2		1				
日本語教育法AⅡ	2		1				
日本語教育法BⅠ	2		2				
日本語教育法BⅡ	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る（詳細は、各資格課程の頁を参照）

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	共通資格科目	日本語教育法C I	2		2		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能 (学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D IIは、日本語教育法B I / B IIの少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可
		日本語教育法C II	2		2		
		日本語教育法D I	2		2	※1	
		日本語教育法D II	2		2	※1	
		日本語教育法E I	2		2		
		日本語教育法E II	2		2		
		教職の理解	2		2	☆※2	
		教育課程論	2		2	☆※2	
		道徳教育の理論と実践	2		2	☆※2	
		特別活動と総合的な学習の時間	2		2	☆※2	
		教育の方法と技術	2		2	☆※2	
		生徒・進路指導の理論と方法	2		2	☆※2	
		ICT演習	2		2	☆※2	
		学校体験	1		2	☆※2	
		介護等体験	1		3	☆※2	
		教育実習 I	1		4	☆※2	
		教育実習 II	2		4	☆※2	
		教育実習 III	2		4	☆※2	
		教職実践演習(中・高)	2		4	☆※2	
		教育社会学(中・高)	2		2	☆※2	
学科 専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	2	◎	2	×	このうちから4単位を選択 この8単位を選択 科目群Cまたは科目群Hの「心理演習」「心理実習」から8単位を選択
		基礎ゼミナール II	2	◎	2	×	
		ゼミナール I	2	◎	3	×	
		ゼミナール II	2	◎	3	×	
		ゼミナール III	2	◎	4	×	
		ゼミナール IV	2	◎	4	×	
	(学科基礎科目群)	総合心理学基礎論	2	◎	1	×	
		心理学概論 I	2	◎	1		
		心理学概論 II	2	◎	1		
		社会学概論 I	2	◎	1		
		宗教学概論 I	2	◎	1		
		教育学概論 I	2	◎	1		
		科学概論	2	◎	1		
		社会学概論 II	2	▽	1		
		宗教学概論 II	2	▽	1		
		教育学概論 II	2	▽	1		
		死生学概論	2	▽	1		
		(専門基礎科目群)	臨床心理学概論	2	▽	1	
	心理学研究法		2	▽	2		
	心理学統計法 I		2	▽	2		
	心理学実験 I		2	▽	2	△	
	心理学統計法 II		2		2		
	発達心理学		2		1		
	教育心理学		2		2		
AI概論	2			2			
(心理学実習科目群)	心理学実験 II	2	▽	3	△		
	心理的アセスメント	4	▽	2	×		
	心理学調査実習	4	▽	3	△		
	心理学応用実習 A	2	▽	3	△		
	心理学応用実習 B	4	▽	3	△		
	臨床心理フィールドワーク A	2	▽	2	△		
	臨床心理フィールドワーク B	2	▽	2	△		
臨床心理フィールドワーク C	2	▽	2	△			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学科専門科目	(心理学基礎科目群)	知覚・認知心理学	2	▽	1		このうちから 4単位を選択	
		感情・人格心理学	2	▽	2			
		神経・生理心理学	2	▽	2			
		社会・集団・家族心理学	2	▽	2			
		障害者・障害児心理学	2	▽	2			
		学習・言語心理学	2	▽	2			
		(臨床心理科目群)	心理学的支援法	2	▽	3		このうちから 4単位を選択
		健康・医療心理学	2	▽	2			
		福祉心理学	2	▽	2			
		教育・学校心理学	2	▽	2			
		精神疾患とその治療	2	▽	2			
		臨床心理学各論A	2	▽	3			
		臨床心理学各論B	2	▽	2			
		臨床心理学各論C	2	▽	2			
		臨床心理学各論D	2	▽	3			
		(発達教育心理科目群)	青年心理学	2		2		※子ども教育学科は 履修不可
		児童発達心理学	2		2			
		教育相談(中・高)	2		3	※		
		教育心理学各論A	2		2			
		教育心理学各論B	2		2			
		発達心理学各論A	2		2			
		発達心理学各論B	2		2			
		教育工学	2		3			
		女性教育論	2		2			
		特別支援教育	2		3			
		(心理・社会科目群)	親子の臨床心理学	2		2	※	※子ども教育学科は 履修不可
		対人社会心理学	2		2	※		
		メディア心理学	2		2			
		色彩・造形心理学	2		2			
		恋愛心理学	2		3			
		心理学特殊講義	2		2			
		AI演習	2		2			
		家族関係論	2		1			
		家族と社会	2		1			
		宗教社会学	2		2			
		生命倫理	2		2			
		臨床死生学	2		3			
		日本史概説	2		1			
		外国史概説	2		1			
		人文地理学	2		1			
		自然地理学	2		1			
		世界地誌	2		1			
	多文化社会論	2		2				
	文化人類学	2		1				
	比較文化論	2		2				
	日本文化入門A	2		1				
	ポップカルチャー論	2		2				
	(公認心理師科目群)	司法・犯罪心理学	2		2		科目群Cまたは 科目群Hの「心理演習」 「心理実習」から8単位を 選択	
	産業・組織心理学	2		2				
	人体の構造と機能及び疾病	2		1	×			
	公認心理師の職責	2		3	×			
	関係行政論	2		3				
	心理演習	2	▽	3	×※1			
	心理実習	2	▽	4	×※2			

※1 15人以下のクラスの演習である。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

※2 15人以下のクラスの実習である。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野に関する施設で80時間以上の実習を行う。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分		授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学科専門科目	(科目群 I ~ 教職科目群)	社会科・公民科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・公民科教育法 II	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 II	2		3	☆	

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

発達・教育心理コースの特長

○発達心理学・教育心理学を中心に広く社会で活かせる心理学の専門知識とスキルを身につける

発達心理学・教育心理学を中心に、広く心理学の専門的な知識とスキルを身につけます。発達障害やジェンダーマイノリティなどの理解を含め、学校や教育場面、企業などでさまざまな悩みを抱える人の心を理解し、ケアのできる専門家を育成します。また、教職課程にも力を入れ、子どもたちの心をしっかりと理解できる教員を育てます。公認心理師を目指すことも可能です。

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

総合心理学科発達・教育心理コースは、学部共通科目30単位、学科専門科目70単位、自由選択科目24単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	30	必修 18 選択必修 4 選択 8	※選択科目は共通資格科目を除いて8単位必要
学科専門科目	70	必修 26 選択必修 28 選択 16	
自由選択科目	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・ 共通資格科目からは14単位まで算入することができます。 	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎総合心理学科 発達・教育心理コース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	基礎科目 キリスト教	キリスト教概論	2	◎	1		このうちから 2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2		
		旧約聖書	2	▽	2		
		新約聖書	2	▽	2		
		東洋英和の歴史	2	▽	2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1		
	ライフデザイン ・ウエルネス科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2		1		
		スポーツ科学A	1		1		
	スポーツ科学B	1		1			
	スポーツ科学C	1		1			
	情報メディア科目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1		
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
	コミュニケーション スキルズ科目	メディア演習C	2		2	△	
		Freshman English AⅠ	1	◎	1		ベーシックについては 原則Ⅰ・Ⅱを同一年度 に履修すること
		Freshman English AⅡ	1	◎	1		
		Freshman English BⅠ	1	◎	1		
		Freshman English BⅡ	1	◎	1		
		Sophomore English AⅠ	1	◎	2		
		Sophomore English AⅡ	1	◎	2		
		Sophomore English BⅠ	1	◎	2		
		Sophomore English BⅡ	1	◎	2		
フランス語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
フランス語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
フランス語(アドバンス)		2		1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
ドイツ語(アドバンス)		2		1			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
スペイン語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
スペイン語(アドバンス)		2		1			
中国語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
中国語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
中国語(アドバンス)		2		1			
韓国語(ベーシック)Ⅰ		2		1			
韓国語(ベーシック)Ⅱ		2		1			
韓国語(アドバンス)	2		1				
手話(ベーシック)Ⅰ	2		1				
手話(ベーシック)Ⅱ	2		1				
手話(アドバンス)	2		1				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修 制限	備考	
学部 共通科目	コミュニケーション スキルズ 科目	TOEIC対策講座	1	▽	2		※1 4年生は履修 できない場合がある このうちから 2単位を選択
		海外英語実習	2	▽	1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2	▽	2		
		English for Communication and Discussion	2	▽	2		
		Presenting in English	2	▽	3		
		English for World Affairs	2	▽	2		
		English for Tourism	2	▽	2		
		English for Business	2	▽	2		
		English for Journalism	2	▽	2		
		Airline English	2	▽	2		
		Psychology in Romance Movies	2	▽	2		
		Culture and History through Movies	2	▽	2		
		Exploring Novels through Movies	2	▽	2		
		English in Pop Culture	2	▽	1		
		English through Music	2	▽	1		
		コミュニケーションのための韓国語	2		2		
		ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		
	留学のための韓国語	2		2			
	日本語A I	1		1	※2		
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	共通 教養 科目	日本国憲法	2		1		※2 留学生および それに準ずると 大学が認めた者 のみ履修可 このうちから 2単位以上を選択し、 それを含めて学部共通 科目(共通資格科目を 除く)から8単位を選択
		哲学概論	2		2		
		倫理と人権	2		1		
		健康心理学	2		2		
		教養のための歴史	2		1		
		生命と人間の歴史	2		2		
		教養のための自然科学	2		1		
		教養のための芸術A	2		1		
	教養のための芸術B	2		1			
アク ティ ブ・ ラー ニン グ 科目	フィールドワークA	2		2	△	※1 4年生は履修 できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2		2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
歴史文化研修B	2		2	△			
インターンシップ	2		2	△			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単 位	必 修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履 修 制 限	備 考	
学部 共通 科目	教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	キリスト教人間形成論	2		3		
		キリスト教保育	2		3		
		教育思想史	2		1		
		保育教育原理	2		1		
		保育者論	2		1		
		子ども家庭支援論	2		2		
		社会福祉	2		1		
		社会的養護 I	2		2		
		子ども家庭支援の心理学	2		3		
		子どもの心理と発達 I	2		2		
		幼児の理解と教育の方法	2		2		
		乳児保育 I	2		2		
		子ども家庭福祉	2		1		
		子どもソーシャルワーク	2		3	△	
		インクルーシブ教育	2		3		
		子どもと自然	2		2		
		世界の子ども教育	2		2		
		子どもと国際社会	2		2		
		Speaking English with Children	2		3		
		子どもの感性とアート	2		2		
		子どものアートとサイエンス	2		3		
		子どもと文化	2		2		
		アートプロジェクト論	2		2		
		あそびと創造のデザイン学	2		2		
		子どもとバフォーミングアーツ	2		2		
		子どもフィールドワークA	2		3	△※	
		子どもフィールドワークB	2		3		
	子どもフィールドワークC	2		2	△※		
	教養科目 (国際学科オープン科目)	法学	2		1		
		国際関係入門	2		1		
		政治学	2		1		
		マクロ経済学	2		1		
		ミクロ経済学	2		1		
		ニュースを読む	2		2		
		国際社会学	2		1		
		多様性の社会思想	2		1		
		宗教と国際社会	2		2		
		異文化間コミュニケーション入門	2		1		
		グローバル時代のコミュニケーション	2		2		
		グローバル化と文化	2		2		
		北米入門	2		1		
		現代の北米	2		2		
		ヨーロッパ・EU入門	2		1		
現代のヨーロッパ・EU		2		2			
北東アジア入門		2		1			
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア		2		2			
グローバルサウス論		2		2			
日本文化入門B		2		1			
ホスピタリティ論		2		2			
韓国の社会と文化		2		2			

※4年生は履修できない場合がある

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単 位	必 修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履 修 制 限	備考	
教養科目（国際学科オープン科目）	英語学概論A	2		2			
	英語学概論B	2		2			
	英語文学入門A	2		1			
	英語文学入門B	2		1			
	英語児童文学	2		1			
	英語で紹介する日本A	2		1			
	英語で紹介する日本B	2		1			
	第二言語習得概論Ⅰ	2		2			
	第二言語習得概論Ⅱ	2		2			
	English for Study Abroad A	2		1			
	English for Study Abroad B	2		1			
	English as an International Language	2		2			
	English for Integrated Learning Ⅰ	2		2			
	English for Integrated Learning Ⅱ	2		2			
	Education around the World	2		2			
	English for Intercultural Understanding	2		2			
	留学準備講座	2		2		※	※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可
	学部共通科目 共通資格科目	博物館概論	2		2	△	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能（学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可）
		博物館資料論	2		2	△	
博物館資料保存論		2		2	△		
博物館教育論		2		2	△		
博物館情報・メディア論		2		2	△		
博物館経営論		2		2	△		
博物館展示論		2		2			
博物館実習Ⅰ		1		3	☆		
博物館実習Ⅱ		2		3	☆		
生涯学習概論		2		2			
生活のなかの図書館		2		1			
図書館情報技術論		2		2	☆		
図書館制度・経営論		2		3	☆		
生涯学習社会と図書館サービス		2		2			
情報サービス論		2		3	☆		
情報資源組織論		2		3	☆		
情報資源組織演習Ⅰ		1		3	☆		
情報資源組織演習Ⅱ		1		3	☆		
子どもの読書支援		2		3			
情報サービス演習Ⅰ		1		3	☆		
情報サービス演習Ⅱ		1		3	☆		
図書館の比較文化論		2		2			
図書館情報資源概論		2		2			
図書・図書館史		2		1			
図書館情報資源特論		2		2			
社会調査の基礎		2		1			
社会調査法		2		1			
データで読む社会		2		2			
統計学		2		2			
フィールド調査法		2		2			
社会調査演習Ⅰ		2		3			
社会調査演習Ⅱ	2		3				
日本語教育法AⅠ	2		1				
日本語教育法AⅡ	2		1				
日本語教育法BⅠ	2		2				
日本語教育法BⅡ	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る（詳細は、各資格課程の頁を参照）

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学部共通科目	共通資格科目	日本語教育法C I		2		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能 (学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D IIは、日本語教育法B I / B IIの少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可
		日本語教育法C II		2		
		日本語教育法D I		2	※1	
		日本語教育法D II		2	※1	
		日本語教育法E I		2		
		日本語教育法E II		2		
		教職の理解		2	※2	
		教育課程論		2	※2	
		道德教育の理論と実践		2	※2	
		特別活動と総合的な学習の時間		2	※2	
		教育の方法と技術		2	※2	
		生徒・進路指導の理論と方法		2	※2	
		ICT演習		2	※2	
		学校体験		1	※2	
		介護等体験		1	※2	
		教育実習 I		1	※2	
		教育実習 II		2	※2	
		教育実習 III		2	※2	
教職実践演習(中・高)		2	※2			
教育社会学(中・高)		2	※2			
学科専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	◎	2	×	このうちから「教育学概論Ⅱ」を含む4単位を選択 この10単位を選択 このうちから6単位を選択
		基礎ゼミナール II	◎	2	×	
		ゼミナール I	◎	3	×	
		ゼミナール II	◎	3	×	
		ゼミナール III	◎	4	×	
		ゼミナール IV	◎	4	×	
	(学科基礎科目群)	総合心理学基礎論	◎	1	×	
		心理学概論 I	◎	1		
		心理学概論 II	◎	1		
		社会学概論 I	◎	1		
		宗教学概論 I	◎	1		
		教育学概論 I	◎	1		
		科学概論	◎	1		
		教育学概論 II	▽	1		
		社会学概論 II	▽	1		
		宗教学概論 II	▽	1		
	死生学概論	▽	1			
	(専門基礎科目群)	発達心理学	▽	1		
		心理学研究法	▽	2		
		心理学統計法 I	▽	2		
		心理学実験 I	▽	2	△	
		教育心理学	▽	2		
		臨床心理学概論		1		
		心理学統計法 II		2		
AI概論		2				
(心理学実習科目群)	心理学実験 II	▽	3	△		
	心理的アセスメント	▽	2	×		
	心理学調査実習	▽	3	△		
	心理学応用実習A	▽	3	△		
	心理学応用実習B	▽	3	△		
	臨床心理フィールドワークA	▽	2	△		
	臨床心理フィールドワークB	▽	2	△		
臨床心理フィールドワークC	▽	2	△			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学科専門科目	(心理学基礎科目群)	知覚・認知心理学	2	▽	1		このうちから 4単位を選択	
		感情・人格心理学	2	▽	2			
		神経・生理心理学	2	▽	2			
		社会・集団・家族心理学	2	▽	2			
		障害者・障害児心理学	2	▽	2			
		学習・言語心理学	2	▽	2			
		(臨床心理科目群)	心理学的支援法	2		3		
		健康・医療心理学	2		2			
		福祉心理学	2		2			
		教育・学校心理学	2		2			
		精神疾患とその治療	2		2			
		臨床心理学各論A	2		3			
		臨床心理学各論B	2		2			
		臨床心理学各論C	2		2			
		臨床心理学各論D	2		3			
		(発達教育心理科目群)	青年心理学	2	▽	2		※子ども教育学科は 履修不可
		児童発達心理学	2	▽	2			
		教育相談(中・高)	2	▽	3	※		
		教育心理学各論A	2	▽	2			
		教育心理学各論B	2	▽	2			
		発達心理学各論A	2	▽	2			
		発達心理学各論B	2	▽	2			
		教育工学	2	▽	3			
		女性教育論	2	▽	2			
		特別支援教育	2	▽	3			
		(心理・社会科目群)	親子の臨床心理学	2		2	※	※子ども教育学科は 履修不可
		対人社会心理学	2		2	※		
		メディア心理学	2		2			
		色彩・造形心理学	2		2			
		恋愛心理学	2		3			
		心理学特殊講義	2		2			
		AI演習	2		2			
		家族関係論	2		1			
		家族と社会	2		1			
		宗教社会学	2		2			
		生命倫理	2		2			
		臨床死生学	2		3			
		日本史概説	2		1			
		外国史概説	2		1			
		人文地理学	2		1			
		自然地理学	2		1			
		世界地誌	2		1			
	多文化社会論	2		2				
	文化人類学	2		1				
	比較文化論	2		2				
	日本文化入門A	2		1				
	ポップカルチャー論	2		2				
	(公認心理師科目群)	司法・犯罪心理学	2		2			
	産業・組織心理学	2		2				
	人体の構造と機能及び疾病	2		1	×			
	公認心理師の職責	2		3	×			
	関係行政論	2		3				
	心理演習	2		3	×※1			
	心理実習	2		4	×※2			

※1 15人以下のクラスの演習である。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

※2 15人以下のクラスの実習である。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野に関する施設で80時間以上の実習を行う。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分		授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学科専門科目	(科目群 I (教職科目群))	社会科・公民科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・公民科教育法 II	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 II	2		3	☆	

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

文化・社会・心理コースの特長

○心理学とそれに関連する幅広い学びを通して人間社会の理解に必要な考え方や判断力を養う

文化や社会、さらに AI、メディアといった現代的な問題も含めて、心理学とそれに関連する領域を幅広く学びます。さまざまな視点から人間や社会への理解を深めることで、他者のために自分は何ができるのかを自主的につかみ取る力を養います。文化・社会・心理をトータルに学ぶことで、自己実現に必要な考え方や判断力を身につけてもらうことが狙いです。

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

総合心理学科文化・社会・心理コースは、学部共通科目30単位、学科専門科目70単位、自由選択科目24単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	30	必修 18 選択必修 4 選択 8	※選択科目は共通資格科目を除いて8単位必要
学科専門科目	70	必修 26 選択必修 28 選択 16	
自由選択科目	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・ 共通資格科目からは14単位まで算入することができます。 	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎総合心理学科 文化・社会・心理コース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	キリスト教 基礎科目	キリスト教概論	2	◎	1		このうちから 2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2		
		旧約聖書	2	▽	2		
		新約聖書	2	▽	2		
		東洋英和の歴史	2	▽	2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1		
	ライフデザイン・ ウェルネス科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2		1		
		スポーツ科学A	1		1		
		スポーツ科学B	1		1		
	スポーツ科学C	1		1			
	情報メディア科目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1		
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
		メディア演習C	2		2	△	
	共通教養科目	日本国憲法	2		1		このうちから 2単位を選択
		哲学概論	2		2		
		倫理と人権	2		1		
		健康心理学	2		2		
		教養のための歴史	2		1		
		生命と人間の歴史	2		2		
		教養のための自然科学	2		1		
		教養のための芸術A	2		1		
教養のための芸術B		2		1			
コミュニケーション スキルズ科目	Freshman English AⅠ	1	◎	1		ベーシックについては原則Ⅰ・Ⅱを同一年度に履修すること コミュニケーションスキルズ科目(★以外)とアクティブ・ラーニング科目の中から合わせて6単位を選択(次ページに続く)	
	Freshman English AⅡ	1	◎	1			
	Freshman English BⅠ	1	◎	1			
	Freshman English BⅡ	1	◎	1			
	Sophomore English AⅠ	1	◎	2			
	Sophomore English AⅡ	1	◎	2			
	Sophomore English BⅠ	1	◎	2			
	Sophomore English BⅡ	1	◎	2			
	フランス語(ベーシック)Ⅰ	2		1			
	フランス語(ベーシック)Ⅱ	2		1			
	フランス語(アドバンス)	2		1			
	ドイツ語(ベーシック)Ⅰ	2		1			
	ドイツ語(ベーシック)Ⅱ	2		1			
	ドイツ語(アドバンス)	2		1			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ	2		1				
スペイン語(ベーシック)Ⅱ	2		1				
スペイン語(アドバンス)	2		1				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学部共通科目	中国語(ベーシック) I	2		1		※1 4年生は履修できない場合がある ★の科目から2単位を選択 コミュニケーションスキルズ科目(★以外)とアクティブラーニング科目の中から合わせて6単位を選択 ※2 留学生およびそれに準ずると大学が認めた者のみ履修可
	中国語(ベーシック) II	2		1		
	中国語(アドバンス)	2		1		
	韓国語(ベーシック) I	2		1		
	韓国語(ベーシック) II	2		1		
	韓国語(アドバンス)	2		1		
	手話(ベーシック) I	2		1		
	手話(ベーシック) II	2		1		
	手話(アドバンス)	2		1		
	TOEIC対策講座(★)	1	▽	2		
	海外英語実習(★)	2	▽	1	△※1	
	コミュニケーション英文法(★)	2	▽	2		
	English for Communication and Discussion(★)	2	▽	2		
	Presenting in English(★)	2	▽	3		
	English for World Affairs(★)	2	▽	2		
	English for Tourism(★)	2	▽	2		
	English for Business(★)	2	▽	2		
	English for Journalism(★)	2	▽	2		
	Airline English(★)	2	▽	2		
	Psychology in Romance Movies(★)	2	▽	2		
	Culture and History through Movies(★)	2	▽	2		
	Exploring Novels through Movies(★)	2	▽	2		
	English in Pop Culture(★)	2	▽	1		
	English through Music(★)	2	▽	1		
	コミュニケーションのための韓国語	2		2		
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		
留学のための韓国語	2		2			
日本語A I	1		1	※2		
日本語A II	1		1	※2		
日本語B I	1		1	※2		
日本語B II	1		1	※2		
日本語C I	1		1	※2		
日本語C II	1		1	※2		
アクティブラーニング科目	フィールドワークA	2		2	△	※1 4年生は履修できない場合がある
	フィールドワークB	2		2	△	
	フィールドワークC	2		2	△	
	プロジェクト学習A	2		2	△	
	プロジェクト学習B	2		2	△	
	プロジェクト学習C	2		2	△	
	プロジェクト学習D	2		2	△	
	プロジェクト学習E	2		2	△	
	プロジェクト学習F	2		2	△	
	海外研修A	2		2	△※1	
	海外研修B	2		2	△※1	
	歴史文化研修A	2		2	△	
	歴史文化研修B	2		2	△	
	インターンシップ	2		2	△	

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部共通科目	教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	キリスト教人間形成論	2		3		※4年生は履修できない場合がある
		キリスト教保育	2		3		
		教育思想史	2		1		
		保育教育原理	2		1		
		保育者論	2		1		
		子ども家庭支援論	2		2		
		社会福祉	2		1		
		社会的養護 I	2		2		
		子ども家庭支援の心理学	2		3		
		子どもの心理と発達 I	2		2		
		幼児の理解と教育の方法	2		2		
		乳児保育 I	2		2		
		子ども家庭福祉	2		1		
		子どもソーシャルワーク	2		3	△	
		インクルーシブ教育	2		3		
		子どもと自然	2		2		
		世界の子どもの教育	2		2		
		子どもと国際社会	2		2		
		Speaking English with Children	2		3		
		子どもの感性とアート	2		2		
		子どものアートとサイエンス	2		3		
		子どもと文化	2		2		
		アートプロジェクト論	2		2		
		あそびと創造のデザイン学	2		2		
	子どもとパフォーマンスアート	2		2			
	子どもフィールドワークA	2		3	△※		
	子どもフィールドワークB	2		3			
	子どもフィールドワークC	2		2	△※		
	教養科目 (国際学科オープン科目)	法学	2		1		
		国際関係入門	2		1		
		政治学	2		1		
		マクロ経済学	2		1		
		ミクロ経済学	2		1		
		ニュースを読む	2		2		
		国際社会学	2		1		
多様性の社会思想		2		1			
宗教と国際社会		2		2			
異文化間コミュニケーション入門		2		1			
グローバル時代のコミュニケーション		2		2			
グローバリゼーションと文化		2		2			
北米入門		2		1			
現代の北米		2		2			
ヨーロッパ・EU入門		2		1			
現代のヨーロッパ・EU		2		2			
北東アジア入門		2		1			
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア		2		2			
グローバルサウス論	2		2				
日本文化入門B	2		1				
ホスピタリティ論	2		2				
韓国の社会と文化	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
教養科目 (国際学科オープン科目)	英語学概論A	2		2			
	英語学概論B	2		2			
	英語文学入門A	2		1			
	英語文学入門B	2		1			
	英語児童文学	2		1			
	英語で紹介する日本A	2		1			
	英語で紹介する日本B	2		1			
	第二言語習得概論 I	2		2			
	第二言語習得概論 II	2		2			
	English for Study Abroad A	2		1			
	English for Study Abroad B	2		1			
	English as an International Language	2		2			
	English for Integrated Learning I	2		2			
	English for Integrated Learning II	2		2			
	Education around the World	2		2			
	English for Intercultural Understanding	2		2			
	留学準備講座	2		2		※	※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可
学部共通科目	共通資格科目	博物館概論	2	2	△	*	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能(学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可)
		博物館資料論	2	2	△		
		博物館資料保存論	2	2	△		
		博物館教育論	2	2	△		
		博物館情報・メディア論	2	2	△		
		博物館経営論	2	2	△		
		博物館展示論	2	2			
		博物館実習 I	1	3	☆		
		博物館実習 II	2	3	☆		
		生涯学習概論	2	2			
		生活のなかの図書館	2	1			
		図書館情報技術論	2	2	☆		
		図書館制度・経営論	2	3	☆		
		生涯学習社会と図書館サービス	2	2			
		情報サービス論	2	3	☆		
		情報資源組織論	2	3	☆		
		情報資源組織演習 I	1	3	☆		
	情報資源組織演習 II	1	3	☆			
	子どもの読書支援	2	3				
	情報サービス演習 I	1	3	☆			
	情報サービス演習 II	1	3	☆			
	図書館の比較文化論	2	2				
	図書館情報資源概論	2	2				
	図書・図書館史	2	1				
	図書館情報資源特論	2	2				
	社会調査の基礎	2	1				
	社会調査法	2	1				
	データで読む社会	2	2				
	統計学	2	2				
	フィールド調査法	2	2				
社会調査演習 I	2	3					
社会調査演習 II	2	3					
日本語教育法A I	2	1					
日本語教育法A II	2	1					
日本語教育法B I	2	2					
日本語教育法B II	2	2					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考			
学部 共通科目	共通 資格 科目	日本語教育法C I	2		2		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能(学部共通科目の選択科目8単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D II は、日本語教育法B I / B II の少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可		
		日本語教育法C II	2		2				
		日本語教育法D I	2		2	※1			
		日本語教育法D II	2		2	※1			
		日本語教育法E I	2		2				
		日本語教育法E II	2		2				
		教職の理解	2		2	※2			
		教育課程論	2		2	※2			
		道徳教育の理論と実践	2		2	※2			
		特別活動と総合的な学習の時間	2		2	※2			
		教育の方法と技術	2		2	※2			
		生徒・進路指導の理論と方法	2		2	※2			
		ICT演習	2		2	※2			
		学校体験	1		2	※2			
		介護等体験	1		3	※2			
		教育実習 I	1		4	※2			
		教育実習 II	2		4	※2			
		教育実習 III	2		4	※2			
		学科 専門科目	ゼミ ナール	基礎ゼミナール I	2	◎		2	×
基礎ゼミナール II	2			◎	2	×			
ゼミナール I	2			◎	3	×			
ゼミナール II	2			◎	3	×			
ゼミナール III	2			◎	4	×			
(学科 基礎 科目群 A)	総合心理学基礎論		2	◎	1	×	このうちから 4単位を選択		
	心理学概論 I		2	◎	1				
	心理学概論 II		2	◎	1				
	社会学概論 I		2	◎	1				
	宗教学概論 I		2	◎	1				
	教育学概論 I		2	◎	1				
	科学概論		2	◎	1				
	社会学概論 II		2	▽	1				
	宗教学概論 II		2	▽	1				
	教育学概論 II		2	▽	1				
	死生学概論		2	▽	1				
	(専門 基礎 科目群 B)		臨床心理学概論	2	▽	1			科目群Aで選択した 4単位以外に このうちから8単位 を選択
			心理学研究法	2	▽	2			
			心理学統計法 I	2	▽	2			
			心理学実験 I	2	▽	2		△	
心理学統計法 II		2	▽	2					
発達心理学		2	▽	1					
教育心理学		2	▽	2					
(心理 学実 習科目 群 C)	AI概論	2	▽	2		科目群Cまたは 科目群Gの 「AI演習」から 4単位を選択			
	心理学実験 II	2	▽	3	△				
	心理的アセスメント	4	▽	2	×				
	心理学調査実習	4	▽	3	△				
	心理学応用実習A	2	▽	3	△				
	心理学応用実習B	4	▽	3	△				
	臨床心理フィールドワークA	2	▽	2	△				
臨床心理フィールドワークB	2	▽	2	△					
臨床心理フィールドワークC	2	▽	2	△					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学科専門科目	(心理学基礎科目群) 科目群D	知覚・認知心理学	2	▽	1		
		感情・人格心理学	2	▽	2		
		神経・生理心理学	2	▽	2		
		社会・集団・家族心理学	2	▽	2		
		障害者・障害児心理学	2	▽	2		
	学習・言語心理学	2	▽	2			
	(臨床心理科目群) 科目群E	心理学的支援法	2	▽	3		
		健康・医療心理学	2	▽	2		
		福祉心理学	2	▽	2		
		教育・学校心理学	2	▽	2		
		精神疾患とその治療	2	▽	2		
		臨床心理学各論A	2	▽	3		
		臨床心理学各論B	2	▽	2		
		臨床心理学各論C	2	▽	2		
	臨床心理学各論D	2	▽	3			
	(発達教育心理科目群) 科目群F	青年心理学	2	▽	2		
		児童発達心理学	2	▽	2		
		教育相談(中・高)	2	▽	3	※	
		教育心理学各論A	2	▽	2		
		教育心理学各論B	2	▽	2		
		発達心理学各論A	2	▽	2		
		発達心理学各論B	2	▽	2		
		教育工学	2	▽	3		
	女性教育論	2	▽	2			
	特別支援教育	2	▽	3			
	(心理・社会科目群) 科目群G	親子の臨床心理学	2	▽	2	※	
		対人社会心理学	2	▽	2	※	
		メディア心理学	2	▽	2		
		色彩・造形心理学	2	▽	2		
		恋愛心理学	2	▽	3		
		心理学特殊講義	2	▽	2		
		AI演習	2	▽	2		
		家族関係論	2	▽	1		
		家族と社会	2	▽	1		
		宗教社会学	2	▽	2		
		生命倫理	2	▽	2		
		臨床死生学	2	▽	3		
		日本史概説	2	▽	1		
		外国史概説	2	▽	1		
		人文地理学	2	▽	1		
		自然地理学	2	▽	1		
		世界地誌	2	▽	1		
多文化社会論		2	▽	2			
文化人類学		2	▽	1			
比較文化論		2	▽	2			
日本文化入門A	2	▽	1				
ポップカルチャー論	2	▽	2				
(公認心理師科目群) 科目群H	司法・犯罪心理学	2		2			
	産業・組織心理学	2		2			
	人体の構造と機能及び疾病	2		1	×		
	公認心理師の職責	2		3	×		
	関係行政論	2		3			
	心理演習	2		3	×※1		
心理実習	2		4	×※2			

※1 15人以下のクラスの演習である。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

※2 15人以下のクラスの実習である。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野に関する施設で80時間以上の実習を行う。履修条件あり。公認心理師資格のページを参照。

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分		授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学科専門科目	科目群 I (教職科目群)	社会科・公民科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・公民科教育法 II	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 I	2		3	☆	
		社会科・地歴科教育法 II	2		3	☆	

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

子ども教育学科は、学部共通科目28単位、学科専門科目70単位、自由選択科目26単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	28	必修 20 選択必修 8	
学科専門科目	70	必修 22 選択必修 22 選択 26	
自由選択科目	26	<ul style="list-style-type: none">学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。共通資格科目からは14単位まで算入することができます。	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎子ども教育学科

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	キリスト教 基礎科目	キリスト教概論	2	◎	1		
		キリスト教文化史	2		2		
		旧約聖書	2		2		
		新約聖書	2		2		
		東洋英和の歴史	2		2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナー I	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナー II	1	◎	1		
	ライフデザイン ・ウエルネス 科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2	◎	1		
		スポーツ科学A	1		1		
		スポーツ科学B	1		1		
		スポーツ科学C	1		1		
	情報メディア 科目	基礎情報科学 I	2	◎	1		
		基礎情報科学 II	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
		メディア演習C	2		2	△	
	コミュニケー ションスキ ルズ科目	Freshman English A I	1	◎	1		
		Freshman English A II	1	◎	1		
		Freshman English B I	1	◎	1		
		Freshman English B II	1	◎	1		
		Sophomore English A I	1	◎	2		
		Sophomore English A II	1	◎	2		
		Sophomore English B I	1	◎	2		
		Sophomore English B II	1	◎	2		
		フランス語(ベーシック) I	2		1		
フランス語(ベーシック) II		2		1			
フランス語(アドバンス)		2		1			
ドイツ語(ベーシック) I		2		1			
ドイツ語(ベーシック) II		2		1			
ドイツ語(アドバンス)		2		1			
スペイン語(ベーシック) I		2		1			
スペイン語(ベーシック) II		2		1			
スペイン語(アドバンス)		2		1			
中国語(ベーシック) I		2		1			
中国語(ベーシック) II		2		1			
中国語(アドバンス)		2		1			
韓国語(ベーシック) I		2		1			
韓国語(ベーシック) II		2		1			
韓国語(アドバンス)		2		1			
手話(ベーシック) I	2		1				
手話(ベーシック) II	2		1				
手話(アドバンス)	2		1				

ベーシックについては原則 I・IIを同一年度に履修すること

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	コミュニケーション スキ ルズ 科目	TOEIC対策講座	1		2		※1 4年生は履修 できない場合がある
		海外英語実習	2		1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2		2		
		English for Communication and Discussion	2		2		
		Presenting in English	2		3		
		English for World Affairs	2		2		
		English for Tourism	2		2		
		English for Business	2		2		
		English for Journalism	2		2		
		Airline English	2		2		
		Psychology in Romance Movies	2		2		
		Culture and History through Movies	2		2		
		Exploring Novels through Movies	2		2		
		English in Pop Culture	2		1		
		English through Music	2		1		
		コミュニケーションのための韓国語	2		2		
		ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		
	留学のための韓国語	2		2			
	日本語A I	1		1	※2	※2 留学生および それに準ずると 大学が認めた者 のみ履修可	
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	日本国憲法	2		1			
	哲学概論	2		2			
	倫理と人権	2		1			
	健康心理学	2		2			
	教養のための歴史	2		1			
	生命と人間の歴史	2		2			
	教養のための自然科学	2		1			
	教養のための芸術A	2		1			
	教養のための芸術B	2		1			
アク ティ ブ・ ラー ニン グ 科目	フィールドワークA	2		2	△	※1 4年生は履修 できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2		2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
	歴史文化研修B	2		2	△		
	インターンシップ	2		2	△		

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学部共通科目	教養科目（総合心理学科オープン科目）	心理学概論Ⅰ	2	▽	1	このうちから 6単位を選択
		社会学概論Ⅰ	2	▽	1	
		宗教学概論Ⅰ	2	▽	1	
		教育学概論Ⅰ	2	▽	1	
		心理学概論Ⅱ	2		1	
		社会学概論Ⅱ	2		1	
		宗教学概論Ⅱ	2		1	
		教育学概論Ⅱ	2		1	
		科学概論	2		1	
		臨床心理学概論	2		1	
		発達心理学	2		1	
		教育心理学	2		2	
		青年心理学	2		2	
		メディア心理学	2		2	
		恋愛心理学	2		3	
		感情・人格心理学	2		2	
		神経・生理心理学	2		2	
		障害者・障害児心理学	2		2	
		学習・言語心理学	2		2	
		知覚・認知心理学	2		1	
		社会・集団・家族心理学	2		2	
		色彩・造形心理学	2		2	
		発達心理学各論A	2		2	
		心理学特殊講義	2		2	
		臨床心理学各論A	2		3	
		臨床心理学各論B	2		2	
		臨床心理学各論C	2		2	
		家族関係論	2	▽	1	このうちから 2単位を選択
		家族と社会	2	▽	1	
		宗教社会学	2		2	
		死生学概論	2		1	
		生命倫理	2		2	
		女性教育論	2		2	
		特別支援教育	2		3	
教育工学	2		3			
AI概論	2		2			
AI演習	2		2			
国際学科教養科目（オープン科目）	外国史概説	2		1		
	日本史概説	2		1		
	人文地理学	2		1		
	自然地理学	2		1		
	世界地誌	2		1		
	法学	2		1		
	国際関係入門	2		1		
	政治学	2		1		
	マクロ経済学	2		1		
	ミクロ経済学	2		1		
	ニュースを読む	2		2		
	国際社会学	2		1		
	多様性の社会思想	2		1		
	宗教と国際社会	2		2		
文化人類学	2		1			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	教養科目 (国際学科オープン科目)	比較文化論	2		2		
		グローバル時代のコミュニケーション	2		2		
		グローバル化と文化	2		2		
		北米入門	2		1		
		現代の北米	2		2		
		ヨーロッパ・EU入門	2		1		
		現代のヨーロッパ・EU	2		2		
		北東アジア入門	2		1		
		東南アジア入門	2		1		
		現代のアジア	2		2		
		オセアニア入門	2		1		
		現代のオセアニア	2		2		
		グローバルサウス論	2		2		
		日本文化入門A	2		1		
		日本文化入門B	2		1		
		ホスピタリティ論	2		2		
		ポップカルチャー論	2		2		
		韓国の社会と文化	2		2		
		英語学概論A	2		2		
		英語学概論B	2		2		
		英語文学入門A	2		1		
		英語文学入門B	2		1		
		英語児童文学	2		1		
		英語で紹介する日本A	2		1		
		英語で紹介する日本B	2		1		
		第二言語習得概論Ⅰ	2		2		
		第二言語習得概論Ⅱ	2		2		
		English for Study Abroad A	2		1		
		English for Study Abroad B	2		1		
		English as an International Language	2		2		
		English for Integrated Learning Ⅰ	2		2		
		English for Integrated Learning Ⅱ	2		2		
		English for Intercultural Understanding	2		2		
留学準備講座	2		2		※	※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可	
共通資格科目	博物館概論	2		2	△	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能	
	博物館資料論	2		2	△		
	博物館資料保存論	2		2	△		
	博物館教育論	2		2	△		
	博物館情報・メディア論	2		2	△		
	博物館経営論	2		2	△		
	博物館展示論	2		2			
	博物館実習Ⅰ	1		3	☆		
	博物館実習Ⅱ	2		3	☆		
	生涯学習概論	2		2			
	生活のなかの図書館	2		1			
	図書館情報技術論	2		2	☆		
	図書館制度・経営論	2		3	☆		
	生涯学習社会と図書館サービス	2		2			
	情報サービス論	2		3	☆		
	情報資源組織論	2		3	☆		
	情報資源組織演習Ⅰ	1		3	☆		
情報資源組織演習Ⅱ	1		3	☆			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	共通資格科目	子どもの読書支援	2		3		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目14単位に加えることが可能 ※ 日本語教育法D I / D II は、日本語教育法B I / B II の少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可
		情報サービス演習 I	1		3	☆	
		情報サービス演習 II	1		3	☆	
		図書館の比較文化論	2		2		
		図書館情報資源概論	2		2		
		図書・図書館史	2		1		
		図書館情報資源特論	2		2		
		社会調査の基礎	2		1		
		社会調査法	2		1		
		データで読む社会	2		2		
		統計学	2		2		
		フィールド調査法	2		2		
		社会調査演習 I	2		3		
		社会調査演習 II	2		3		
		日本語教育法A I	2		1		
		日本語教育法A II	2		1		
		日本語教育法B I	2		2		
		日本語教育法B II	2		2		
		日本語教育法C I	2		2		
		日本語教育法C II	2		2		
		日本語教育法D I	2		2	※	
日本語教育法D II	2		2	※			
日本語教育法E I	2		2				
日本語教育法E II	2		2				
学科 専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	2	◎	2	×	このうちから2単位を選択 【保育子どもコース】 このうちから8単位を選択 ※4年生は履修できない場合がある 【国際子どもコース】 このうちから8単位を選択 【子どもアートコース】 このうちから8単位を選択 (次ページに続く)
		基礎ゼミナール II	2	◎	2	×	
		ゼミナール I	2	◎	3	×	
		ゼミナール II	2	◎	3	×	
		ゼミナール III	2	◎	4	×	
		ゼミナール IV	2	◎	4	×	
	学科基礎科目	子ども家庭福祉	2	◎	1		
		保育教育原理	2	◎	1		
		教育思想史	2	◎	1		
		キリスト教人間形成論	2	▽	3		
		キリスト教保育	2	▽	3		
		子どもソーシャルワーク	2	▽	3	△	
	子ども教育基幹科目	子どもの臨床心理学	2	▽	2	×	
		感情とコミュニケーションの心理学	2	▽	2	×	
		インクルーシブ教育	2	▽	3		
		子どもと自然	2	▽	2		
		児童発達心理学	2	▽	2		
		子どもフィールドワークC	2	▽	2	△※	
		世界の子ども教育	2	▽	2		
		子どもと国際社会	2	▽	2		
		Speaking English with Children	2	▽	3		
多文化社会論		2	▽	2			
異文化間コミュニケーション入門		2	▽	1			
Education around the World		2	▽	2			
子どもフィールドワークA		2	▽	3	△※		
子どもの感性とアート		2	▽	2			
子どものアートとサイエンス	2	▽	3				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学科専門科目	子ども教育	子どもと文化	2	▽	2		(前ページからの続き) 【子どもアートコース】 このうちから 8単位を選択	
		アートプロジェクト論	2	▽	2			
		あそびと創造のデザイン学	2	▽	2			
		子どもとパフォーマンスアート	2	▽	2			
		子どもフィールドワークB	2	▽	3	△		
	理解の本質・科目	保育者論	2		1			
		子ども家庭支援論	2		2			
		社会的養護Ⅰ	2		2			
		社会福祉	2		1			
	対象の理解科目	教育社会学(子ども)	2		2	×		
		子どもの心理と発達Ⅰ	2		2			
		子どもの心理と発達Ⅱ	2		2	×		
		子ども家庭支援の心理学	2		3			
		教育相談(子ども)	2		3			
		子どもの保健	2		2	×		
		子どもの食と栄養	2		2	×		
	内容・方法及び指導法の科目	保育・教育課程論	2	◎	4			このうちから 6単位を選択
		保育内容総論	2		1	×		
		保育内容各論(健康)	2	▽	2	×		
		保育内容各論(人間関係)	2	▽	1	×		
		保育内容各論(環境)	2	▽	1	×		
		保育内容各論(言葉)	2	▽	2	×		
		保育内容各論(表現)	2	▽	2	×		
		幼児の理解と教育の方法	2		2			
		乳児保育Ⅰ	2		2			
		乳児保育Ⅱ	2		3	×		
		子どもの健康と安全	2		2	×		
		特別支援保育論	2	◎	2	×		
		社会的養護Ⅱ	2		3	×		
		子育て支援	2		3			
		保育の基礎技能	2		1	×		
		保育内容(健康)の指導法	2	▽	3	△×	このうちから 4単位を選択	
		保育内容(人間関係)の指導法	2	▽	2	△×		
	保育内容(環境)の指導法	2	▽	2	△×			
	保育内容(言葉)の指導法	2	▽	3	△×			
	保育内容(音楽表現)の指導法	2	▽	3	△×	このうちから 2単位を選択		
	保育内容(造形表現)の指導法	2	▽	3	△×			
	保育内容(身体表現)の指導法	2	▽	3	△×			
専門実習・演習	教育実習Ⅰ	2		3	×			
	教育実習Ⅱ	2		4	×			
	教育実習指導Ⅰ	1		3	×			
	教育実習指導Ⅱ	1		4	×			
	保育実習ⅠA(保育所)	2		2	×			
	保育実習ⅠB(施設)	2		3	×			
	保育実習Ⅱ(保育所)	2		4	×			
	保育実習Ⅲ(施設)	2		4	×			
	保育実習指導ⅠA	1		2	×			
	保育実習指導ⅠB	1		2	×			
	保育実習指導Ⅱ	1		4	×			
	保育実習指導Ⅲ	1		4	×			
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		4	×			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

国際コミュニケーションコース

国際コミュニケーションコースの特長

○外国語を学びながら異文化への理解を深め国内外で活躍できる力を養う

国際共通語としての英語を学び、異文化間コミュニケーションの方法を習得することで、世界中で通用するコミュニケーション能力を身につけます。また、英語で日本の文化や社会を紹介したり、英語の文学作品を読み解いたり、言語の仕組みを学んだりすることで、発信力・表現力・分析力を磨きます。さらに、韓国語などの第2外国語や、英語圏以外の地域の文化や社会について学ぶことで、多文化理解を深め、活躍の場を広げることを目指します。

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

国際学科国際コミュニケーションコースは、学部共通科目36単位、学科専門科目58単位、自由選択科目30単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	36	必修 18 選択必修 8 選択 10	※選択科目は共通資格科目を除いて10単位必要
学科専門科目	58	必修 16 選択必修 16 選択 26	
自由選択科目	30	<ul style="list-style-type: none">学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。共通資格科目からは14単位まで算入することができます。各種技能検定試験に合格し認定された単位を4単位まで自由選択科目の単位に算入することができます。	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎国際学科 国際コミュニケーションコース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	キリスト教 基礎科目	キリスト教概論	2	◎	1		このうちまたは 「プロジェクト学習C」か ら2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2		
		旧約聖書	2	▽	2		
		新約聖書	2	▽	2		
		東洋英和の歴史	2	▽	2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1		
	ライフデザイン ・ウェルネス 科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2		1		
		スポーツ科学A	1		1		
	情報メ ディア科 目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1		
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
		メディア演習C	2		2	△	
	コミュニ ケーション スキルズ 科目	Freshman English AⅠ	1	◎	1		
		Freshman English AⅡ	1	◎	1		
		Freshman English BⅠ	1	◎	1		
		Freshman English BⅡ	1	◎	1		
		Sophomore English AⅠ	1	◎	2		
Sophomore English AⅡ		1	◎	2			
Sophomore English BⅠ		1	◎	2			
Sophomore English BⅡ		1	◎	2			
フランス語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
フランス語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
フランス語(アドバンス)		2	▽	1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
ドイツ語(アドバンス)		2	▽	1			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
スペイン語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
スペイン語(アドバンス)		2	▽	1			
中国語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
中国語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
中国語(アドバンス)		2	▽	1			
韓国語(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1				
韓国語(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1				
韓国語(アドバンス)	2	▽	1				
手話(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1				
手話(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1				
手話(アドバンス)	2	▽	1				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

このうちから
6単位を選択
(次ページに続く)

ベーシックについては
原則Ⅰ・Ⅱを同一年度
に履修すること

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 <small>表記された学年 以上で履修可能</small>	履修制限	備考	
学部共通科目	コミュニケーションスキーズ科目	TOEIC対策講座	1	▽	2		※1 4年生は履修できない場合がある (前ページからの続き) このうちから6単位を選択
		海外英語実習	2	▽	1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2	▽	2		
		English for Communication and Discussion	2	▽	2		
		Presenting in English	2	▽	3		
		English for World Affairs	2	▽	2		
		English for Tourism	2	▽	2		
		English for Business	2	▽	2		
		English for Journalism	2	▽	2		
		Airline English	2	▽	2		
		Psychology in Romance Movies	2	▽	2		
		Culture and History through Movies	2	▽	2		
		Exploring Novels through Movies	2	▽	2		
		English in Pop Culture	2	▽	1		
		English through Music	2	▽	1		
	コミュニケーションのための韓国語	2	▽	2			
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2	▽	2			
	留学のための韓国語	2	▽	2			
	日本語A I	1		1	※2	※2 留学生およびそれに準ずると大学が認めた者のみ履修可	
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	共通教養科目	日本国憲法	2		1		
		哲学概論	2		2		
		倫理と人権	2		1		
		健康心理学	2		2		
		教養のための歴史	2		1		
		生命と人間の歴史	2		2		
		教養のための自然科学	2		1		
		教養のための芸術A	2		1		
教養のための芸術B		2		1			
アクティブラーニング科目	フィールドワークA	2		2	△	「プロジェクト学習C」またはキリスト教基礎科目(「キリスト教概論」を除く)から2単位を選択 ※1 4年生は履修できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2	▽	2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
	歴史文化研修B	2		2	△		
	インターンシップ	2		2	△		

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学部共通科目	教養科目（総合心理学科オープン科目）	心理学概論Ⅰ	2		1			
		心理学概論Ⅱ	2		1			
		社会学概論Ⅰ	2		1			
		社会学概論Ⅱ	2		1			
		宗教学概論Ⅰ	2		1			
		宗教学概論Ⅱ	2		1			
		教育学概論Ⅰ	2		1			
		教育学概論Ⅱ	2		1			
		科学概論	2		1			
		臨床心理学概論	2		1			
		発達心理学	2		1			
		教育心理学	2		2			
		青年心理学	2		2			
		メディア心理学	2		2			
		恋愛心理学	2		3			
		児童発達心理学	2		2			
		感情・人格心理学	2		2			
		神経・生理心理学	2		2			
		障害者・障害児心理学	2		2			
		学習・言語心理学	2		2			
		知覚・認知心理学	2		1			
		社会・集団・家族心理学	2		2			
		色彩・造形心理学	2		2			
		親子の臨床心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		発達心理学各論A	2		2			
		心理学特殊講義	2		2			
		対人社会心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		臨床心理学各論A	2		3			
		臨床心理学各論B	2		2			
		臨床心理学各論C	2		2			
		家族関係論	2		1			
		家族と社会	2		1			
		宗教社会学	2		2			
		死生学概論	2		1			
		生命倫理	2		2			
		女性教育論	2		2			
		教育相談(中・高)	2		3		※	※子ども教育学科は履修不可
		特別支援教育	2		3			
		教育工学	2		3			
		AI概論	2		2			
		AI演習	2		2			
教養科目（子ども教育学科オープン科目）	キリスト教人間形成論	2		3				
	キリスト教保育	2		3				
	教育思想史	2		1				
	保育教育原理	2		1				
	保育者論	2		1				
	子ども家庭支援論	2		2				
	社会的養護Ⅰ	2		2				
	子ども家庭支援の心理学	2		3				
	子どもの心理と発達Ⅰ	2		2				
	幼児の理解と教育の方法	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	乳児保育 I	2		2		※4年生は履修できない場合がある		
	子ども家庭福祉	2		1				
	社会福祉	2		1				
	子どもソーシャルワーク	2		3	△			
	インクルーシブ教育	2		3				
	子どもと自然	2		2				
	世界の子ども教育	2		2				
	子どもと国際社会	2		2				
	Speaking English with Children	2		3				
	子どもの感性とアート	2		2				
	子どものアートとサイエンス	2		3				
	子どもと文化	2		2				
	アートプロジェクト論	2		2				
	あそびと創造のデザイン学	2		2				
	子どもとパフォーマンスアート	2		2				
	子どもフィールドワークA	2		3	△※			
	子どもフィールドワークB	2		3				
	子どもフィールドワークC	2		2	△※			
	学部 共通科目	博物館概論	2		2		△	* 共通資格科目を修得した 場合、自由選択科目として14単位まで 加えることが可能 (学部共通科目の選択科目10単位に加える ことは不可)
		博物館資料論	2		2		△	
博物館資料保存論		2		2	△			
博物館教育論		2		2	△			
博物館情報・メディア論		2		2	△			
博物館経営論		2		2	△			
博物館展示論		2		2				
博物館実習 I		1		3	☆			
博物館実習 II		2		3	☆			
生涯学習概論		2		2				
生活のなかの図書館		2		1				
図書館情報技術論		2		2	☆			
図書館制度・経営論		2		3	☆			
生涯学習社会と図書館サービス		2		2				
情報サービス論		2		3	☆			
情報資源組織論		2		3	☆			
情報資源組織演習 I		1		3	☆			
情報資源組織演習 II		1		3	☆			
子どもの読書支援		2		3				
情報サービス演習 I		1		3	☆			
情報サービス演習 II		1		3	☆			
図書館の比較文化論		2		2				
図書館情報資源概論		2		2				
図書・図書館史		2		1				
図書館情報資源特論		2		2				
社会調査の基礎		2		1				
社会調査法		2		1				
データで読む社会		2		2				
統計学		2		2				
フィールド調査法		2		2				
社会調査演習 I	2		3					
社会調査演習 II	2		3					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学部 共通科目	共通資格科目	日本語教育法A I	2		1		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能 (学部共通科目の選択科目10単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D II は、日本語教育法B I / B II の少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可	
		日本語教育法A II	2		1			
		日本語教育法B I	2		2			
		日本語教育法B II	2		2			
		日本語教育法C I	2		2			
		日本語教育法C II	2		2			
		日本語教育法D I	2		2	※1		
		日本語教育法D II	2		2	※1		
		日本語教育法E I	2		2			
		日本語教育法E II	2		2			
		教職の理解	2		2	※2		
		教育課程論	2		2	※2		
		道徳教育の理論と実践	2		2	※2		
		特別活動と総合的な学習の時間	2		2	※2		
		教育の方法と技術	2		2	※2		
		生徒・進路指導の理論と方法	2		2	※2		
		ICT演習	2		2	※2		
		学校体験	1		2	※2		
		介護等体験	1		3	※2		
		教育実習 I	1		4	※2		
教育実習 II	2		4	※2				
教育実習 III	2		4	※2				
教職実践演習(中・高)	2		4	※2				
教育社会学(中・高)	2		2	※2				
学科 専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	2	◎	2	×		
		基礎ゼミナール II	2	◎	2	×		
		ゼミナール I	2	◎	3	×		
		ゼミナール II	2	◎	3	×		
		ゼミナール III	2	◎	4	×		
		ゼミナール IV	2	◎	4	×		
	学科基礎科目	21世紀の国際社会をみる視点	2	◎	1	×		
		国際社会学	2	◎	1			
		外国史概説	2		1			
		日本史概説	2		1			
		人文地理学	2		1			
		自然地理学	2		1			
	世界地誌	2		1				
	国際関係関連科目	法学	2		1			
		国際関係入門	2		1			
		政治学	2		1			
		マクロ経済学	2		1			
		ミクロ経済学	2		1			
		ニュースを読む	2		2			
		国際協力論	2		2			
国際関係史		2		2				
国際関係論		2		2				
国際機構論		2		2				
国際経済論		2		2				
国際法		2		2				
地球規模問題		2		3				
安全保障論		2		3				
公共政策論	2		3					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学科専門科目	異文化理解関連科目	異文化間コミュニケーション入門	2	▽	1		このページの▽から「英語で紹介する日本A」を含む 16単位を選択
		比較文化論	2	▽	2		
		グローバル時代のコミュニケーション	2	▽	2		
		観光と社会	2		2		
		多様性の社会思想	2		1		
		多文化社会論	2		2		
		宗教と国際社会	2		2		
		文化人類学	2		1		
	グローバリゼーションと文化	2		2			
	外国語コミュニケーション関連科目	英語学概論A	2	▽	2		このページの▽から「英語で紹介する日本A」を含む 16単位を選択
		英語文学入門A	2	▽	1		
		英語児童文学	2	▽	1		
		英語で紹介する日本A	2	▽	1		
		English for Study Abroad B	2	▽	1		
		English as an International Language	2	▽	2		
		English for Integrated Learning I	2	▽	2		
		English for Intercultural Understanding	2	▽	2		
		英語学概論B	2		2		
		英語文学入門B	2		1		
		英語で紹介する日本B	2		1		
		第二言語習得概論Ⅰ	2		2		
		第二言語習得概論Ⅱ	2		2		
		通訳トレーニング	2		3		
		翻訳トレーニング	2		3		
	English for Study Abroad A	2		1			
	English for Integrated Learning II	2		2			
	Education around the World	2		2			
	留学準備講座	2		2	※	※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可	
	エリアスタディーズ科目	ホスピタリティ論	2	▽	2		このページの▽から「英語で紹介する日本A」を含む 16単位を選択
		韓国の社会と文化	2	▽	2		
		北米入門	2		1		
		現代の北米	2		2		
		ヨーロッパ・EU入門	2		1		
現代のヨーロッパ・EU		2		2			
北東アジア入門		2		1			
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア		2		2			
グローバルサウス論		2		2			
日本文化入門A		2		1			
日本文化入門B		2		1			
ポップカルチャー論	2		2				
学科教職科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅲ	2		3	☆		
英語科教育法Ⅳ	2		3	☆			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

多文化社会コース

多文化社会コースの特長

○多文化が共存する社会の課題を学び、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指す

異なる文化的背景を持つ人々が一つの社会で共に暮らすために必要な仕組みや、人々の意識について学びます。日本に定住する外国人が増える中、住居の確保、言語サポート、教育や子育て支援、さらに医療や災害時の対応など、解決すべき課題は多岐にわたります。このコースでは、これらの現状を理解し、多文化共生社会を実現するために必要な知識や行動力を養います。

1. 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

国際学科多文化社会コースは、学部共通科目36単位、学科専門科目58単位、自由選択科目30単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	36	必修 18 選択必修 8 選択 10	※選択科目は共通資格科目を除いて10単位必要
学科専門科目	58	必修 16 選択必修 16 選択 26	
自由選択科目	30	<ul style="list-style-type: none">学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。共通資格科目からは14単位まで算入することができます。各種技能検定試験に合格し認定された単位を4単位まで自由選択科目の単位に算入することができます。	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎国際学科 多文化社会コース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	キリスト教 基礎科目	キリスト教概論	2	◎	1		このうちまたは 「プロジェクト学習C」か ら2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2		
		旧約聖書	2	▽	2		
		新約聖書	2	▽	2		
		東洋英和の歴史	2	▽	2		
	フレッシュマン セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1		
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1		
	ライフデザイン ・ウェルネス 科目	ライフデザイン	2	◎	1		
		ジェンダースタディーズA	2		2		
		ジェンダースタディーズB	2		2		
		ジェンダースタディーズC	2		2		
		ビジネスと社会A	2		2		
		ビジネスと社会B	2		2		
		ビジネスと社会C	2		2		
		キャリアデザイン	2		2		
		健康科学(講義・実技)	2		1		
		スポーツ科学A	1		1		
	スポーツ科学B	1		1			
	スポーツ科学C	1		1			
	情報メ ディア科 目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1		
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1		
		メディア演習A	2		2	△	
		メディア演習B	2		2	△	
		メディア演習C	2		2	△	
	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル ズ 科 目	Freshman English AⅠ	1	◎	1		
		Freshman English AⅡ	1	◎	1		
		Freshman English BⅠ	1	◎	1		
Freshman English BⅡ		1	◎	1			
Sophomore English AⅠ		1	◎	2			
Sophomore English AⅡ		1	◎	2			
Sophomore English BⅠ		1	◎	2			
Sophomore English BⅡ		1	◎	2			
フランス語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
フランス語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
フランス語(アドバンス)		2	▽	1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
ドイツ語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
ドイツ語(アドバンス)		2	▽	1			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
スペイン語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
スペイン語(アドバンス)		2	▽	1			
中国語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1			
中国語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1			
中国語(アドバンス)		2	▽	1			
韓国語(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1				
韓国語(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1				
韓国語(アドバンス)	2	▽	1				
手話(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1				
手話(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1				
手話(アドバンス)	2	▽	1				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

このうちから
6単位を選択
(次ページに続く)

ベーシックについては
原則Ⅰ・Ⅱを同一年度
に履修すること

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	コミュニケーション スキ ルズ 科目	TOEIC対策講座	1	▽	2		※1 4年生は履修 できない場合がある (前ページからの続き) このうちから 6単位を選択
		海外英語実習	2	▽	1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2	▽	2		
		English for Communication and Discussion	2	▽	2		
		Presenting in English	2	▽	3		
		English for World Affairs	2	▽	2		
		English for Tourism	2	▽	2		
		English for Business	2	▽	2		
		English for Journalism	2	▽	2		
		Airline English	2	▽	2		
		Psychology in Romance Movies	2	▽	2		
		Culture and History through Movies	2	▽	2		
		Exploring Novels through Movies	2	▽	2		
		English in Pop Culture	2	▽	1		
		English through Music	2	▽	1		
		コミュニケーションのための韓国語	2	▽	2		
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2	▽	2			
	留学のための韓国語	2	▽	2			
	日本語A I	1		1	※2	※2 留学生および それに準ずると 大学が認めた者 のみ履修可	
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	日本国憲法	2		1			
	哲学概論	2		2			
	倫理と人権	2		1			
	健康心理学	2		2			
	教養のための歴史	2		1			
	生命と人間の歴史	2		2			
	教養のための自然科学	2		1			
	教養のための芸術A	2		1			
教養のための芸術B	2		1				
アク ティ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 科 目	フィールドワークA	2		2	△	「プロジェクト学習C」ま たはキリスト教基礎科 目(「キリスト教概論」を 除く)から2単位を選択 ※1 4年生は履修 できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2	▽	2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
	歴史文化研修B	2		2	△		
	インターンシップ	2		2	△		

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学部共通科目	教養科目（総合心理学科オープン科目）	心理学概論Ⅰ	2		1			
		心理学概論Ⅱ	2		1			
		社会学概論Ⅰ	2		1			
		社会学概論Ⅱ	2		1			
		宗教学概論Ⅰ	2		1			
		宗教学概論Ⅱ	2		1			
		教育学概論Ⅰ	2		1			
		教育学概論Ⅱ	2		1			
		科学概論	2		1			
		臨床心理学概論	2		1			
		発達心理学	2		1			
		教育心理学	2		2			
		青年心理学	2		2			
		メディア心理学	2		2			
		恋愛心理学	2		3			
		児童発達心理学	2		2			
		感情・人格心理学	2		2			
		神経・生理心理学	2		2			
		障害者・障害児心理学	2		2			
		学習・言語心理学	2		2			
		知覚・認知心理学	2		1			
		社会・集団・家族心理学	2		2			
		色彩・造形心理学	2		2			
		親子の臨床心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		発達心理学各論A	2		2			
		心理学特殊講義	2		2			
		対人社会心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		臨床心理学各論A	2		3			
		臨床心理学各論B	2		2			
		臨床心理学各論C	2		2			
		家族関係論	2		1			
		家族と社会	2		1			
		宗教社会学	2		2			
		死生学概論	2		1			
		生命倫理	2		2			
		女性教育論	2		2			
		教育相談(中・高)	2		3		※	※子ども教育学科は履修不可
		特別支援教育	2		3			
		教育工学	2		3			
		AI概論	2		2			
		AI演習	2		2			
		教養科目（子ども教育学科オープン科目）	キリスト教人間形成論	2		3		
			キリスト教保育	2		3		
教育思想史	2			1				
保育教育原理	2			1				
保育者論	2			1				
子ども家庭支援論	2			2				
社会的養護Ⅰ	2			2				
子ども家庭支援の心理学	2			3				
子どもの心理と発達Ⅰ	2			2				
幼児の理解と教育の方法	2			2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	乳児保育 I	2		2		※4年生は履修できない場合がある		
	子ども家庭福祉	2		1				
	社会福祉	2		1				
	子どもソーシャルワーク	2		3	△			
	インクルーシブ教育	2		3				
	子どもと自然	2		2				
	世界の子ども教育	2		2				
	子どもと国際社会	2		2				
	Speaking English with Children	2		3				
	子どもの感性とアート	2		2				
	子どものアートとサイエンス	2		3				
	子どもと文化	2		2				
	アートプロジェクト論	2		2				
	あそびと創造のデザイン学	2		2				
	子どもとパフォーマンスアート	2		2				
	子どもフィールドワークA	2		3	△※			
	子どもフィールドワークB	2		3				
	子どもフィールドワークC	2		2	△※			
	学部 共通科目	博物館概論	2		2		△	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能 (学部共通科目の選択科目10単位に加えることは不可)
		博物館資料論	2		2		△	
博物館資料保存論		2		2	△			
博物館教育論		2		2	△			
博物館情報・メディア論		2		2	△			
博物館経営論		2		2	△			
博物館展示論		2		2				
博物館実習 I		1		3	☆			
博物館実習 II		2		3	☆			
生涯学習概論		2		2				
生活のなかの図書館		2		1				
図書館情報技術論		2		2	☆			
図書館制度・経営論		2		3	☆			
生涯学習社会と図書館サービス		2		2				
情報サービス論		2		3	☆			
情報資源組織論		2		3	☆			
情報資源組織演習 I		1		3	☆			
情報資源組織演習 II		1		3	☆			
子どもの読書支援		2		3				
情報サービス演習 I		1		3	☆			
情報サービス演習 II		1		3	☆			
図書館の比較文化論		2		2				
図書館情報資源概論		2		2				
図書・図書館史		2		1				
図書館情報資源特論		2		2				
社会調査の基礎		2		1				
社会調査法		2		1				
データで読む社会		2		2				
統計学		2		2				
フィールド調査法		2		2				
社会調査演習 I	2		3					
社会調査演習 II	2		3					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	共通資格科目	日本語教育法A I	2		1		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能(学部共通科目の選択科目10単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D II は、日本語教育法B I / B II の少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可
		日本語教育法A II	2		1		
		日本語教育法B I	2		2		
		日本語教育法B II	2		2		
		日本語教育法C I	2		2		
		日本語教育法C II	2		2		
		日本語教育法D I	2		2	※1	
		日本語教育法D II	2		2	※1	
		日本語教育法E I	2		2		
		日本語教育法E II	2		2		
		教職の理解	2		2	※2	
		教育課程論	2		2	※2	
		道德教育の理論と実践	2		2	※2	
		特別活動と総合的な学習の時間	2		2	※2	
		教育の方法と技術	2		2	※2	
		生徒・進路指導の理論と方法	2		2	※2	
		ICT演習	2		2	※2	
		学校体験	1		2	※2	
		介護等体験	1		3	※2	
		教育実習 I	1		4	※2	
教育実習 II	2		4	※2			
教育実習 III	2		4	※2			
教職実践演習(中・高)	2		4	※2			
教育社会学(中・高)	2		2	※2			
学科 専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	2	◎	2	×	このページと次のページの▽から「異文化間コミュニケーション入門」を含む16単位を選択 このページと次のページの▽から「異文化間コミュニケーション入門」を含む16単位を選択
		基礎ゼミナール II	2	◎	2	×	
		ゼミナール I	2	◎	3	×	
		ゼミナール II	2	◎	3	×	
		ゼミナール III	2	◎	4	×	
		ゼミナール IV	2	◎	4	×	
	学科基礎科目	21世紀の国際社会をみる視点	2	◎	1	×	
		国際社会学	2	◎	1		
		人文地理学	2	▽	1		
		外国史概説	2		1		
		日本史概説	2		1		
		自然地理学	2		1		
	国際関係関連科目	国際関係史	2	▽	2		
		法学	2		1		
		国際関係入門	2		1		
		政治学	2		1		
		マクロ経済学	2		1		
		ミクロ経済学	2		1		
		ニュースを読む	2		2		
		国際協力論	2		2		
国際関係論		2		2			
国際機構論		2		2			
国際経済論		2		2			
国際法		2		2			
地球規模問題		2		3			
安全保障論		2		3			
公共政策論	2		3				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学科専門科目	異文化理解関連科目	多様性の社会思想	2	▽	1		このページと前のページの▽から「異文化間コミュニケーション入門」を含む16単位を選択
		多文化社会論	2	▽	2		
		宗教と国際社会	2	▽	2		
		異文化間コミュニケーション入門	2	▽	1		
		文化人類学	2	▽	1		
		比較文化論	2	▽	2		
		グローバル時代のコミュニケーション	2	▽	2		
		グローバリゼーションと文化	2	▽	2		
	観光と社会	2		2			
	外国語コミュニケーション関連科目	英語で紹介する日本A	2	▽	1		このページと前のページの▽から「異文化間コミュニケーション入門」を含む16単位を選択
		英語学概論A	2		2		
		英語学概論B	2		2		
		英語文学入門A	2		1		
		英語文学入門B	2		1		
		英語児童文学	2		1		
		英語で紹介する日本B	2		1		
		第二言語習得概論Ⅰ	2		2		
		第二言語習得概論Ⅱ	2		2		
		通訳トレーニング	2		3		
		翻訳トレーニング	2		3		
		English for Study Abroad A	2		1		
		English for Study Abroad B	2		1		
		English as an International Language	2		2		
		English for Integrated Learning Ⅰ	2		2		
	English for Integrated Learning Ⅱ	2		2			
	Education around the World	2		2			
	English for Intercultural Understanding	2		2			
	留学準備講座	2		2	※	※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可	
	エリアスタディーズ科目	日本文化入門A	2	▽	1		このページと前のページの▽から「異文化間コミュニケーション入門」を含む16単位を選択
		ホスピタリティ論	2	▽	2		
		北米入門	2		1		
		現代の北米	2		2		
		ヨーロッパ・EU入門	2		1		
現代のヨーロッパ・EU		2		2			
北東アジア入門		2		1			
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア		2		2			
グローバルサウス論		2		2			
日本文化入門B		2		1			
ポップカルチャー論		2		2			
韓国の社会と文化	2		2				
学科教職科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅲ	2		3	☆		
英語科教育法Ⅳ	2		3	☆			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

国際協力コース

国際協力コースの特長

○国際社会の仕組みを学び、自分たちができる国際協力を考える

災害や戦争で困っている人々を支援する活動、貧しい地域の生活を改善する取り組み、自然環境を守るための行動など、国際協力にはさまざまな形があります。こうした取り組みを成功させるためには、問題の背景や原因を正しく理解し、世界の動きや仕組みを知ることが重要です。このコースでは、国際関係や国際社会の仕組みを学び、自分たちにもできる国際協力の方法を考え、行動に移す力を育てます。

1. 国際協力コース 卒業に必要な単位（卒業要件単位）

国際学科国際協力コースは、学部共通科目36単位、学科専門科目58単位、自由選択科目30単位、合計124単位が卒業に必要な単位です。

	単位	内訳	備 考
学部共通科目	36	必修 18 選択必修 8 選択 10	※選択科目は共通資格科目を除いて10単位必要
学科専門科目	58	必修 16 選択必修 16 選択 26	
自由選択科目	30	<ul style="list-style-type: none">学部共通科目、学科専門科目（他学科を含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。共通資格科目からは14単位まで算入することができます。各種技能検定試験に合格し認定された単位を4単位まで自由選択科目の単位に算入することができます。	
計	124		

※卒業に必要な単位は合計で124単位以上です。そのうち、オンデマンド科目の単位は60単位まで算入できると定められています。なお、合計単位数が124単位を超えていても、必修科目や上記の区分毎の合計単位数が不足している場合は卒業できません。

※同一名称科目の単位を複数回修得した場合は、そのうち1回分の単位のみが卒業に必要な単位（124単位）に含まれます。

◎国際学科 国際協力コース

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考
学部 共通科目	キリスト教 基礎科目	キリスト教概論	2	◎	1	このうちまたは「プロジェクト学習C」から2単位を選択
		キリスト教文化史	2	▽	2	
		旧約聖書	2	▽	2	
		新約聖書	2	▽	2	
		東洋英和の歴史	2	▽	2	
	フレッシュマン・セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	◎	1	
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	◎	1	
	ライフデザイン・ウェルネス科目	ライフデザイン	2	◎	1	
		ジェンダースタディーズA	2		2	
		ジェンダースタディーズB	2		2	
		ジェンダースタディーズC	2		2	
		ビジネスと社会A	2		2	
		ビジネスと社会B	2		2	
		ビジネスと社会C	2		2	
		キャリアデザイン	2		2	
		健康科学(講義・実技)	2		1	
		スポーツ科学A	1		1	
		スポーツ科学B	1		1	
	スポーツ科学C	1		1		
	情報メディア科目	基礎情報科学Ⅰ	2	◎	1	
		基礎情報科学Ⅱ	2	◎	1	
		メディア演習A	2		2	
		メディア演習B	2		2	
		メディア演習C	2		2	
	コミュニケーションスキーズ科目	Freshman English AⅠ	1	◎	1	
		Freshman English AⅡ	1	◎	1	
		Freshman English BⅠ	1	◎	1	
		Freshman English BⅡ	1	◎	1	
		Sophomore English AⅠ	1	◎	2	
Sophomore English AⅡ		1	◎	2		
Sophomore English BⅠ		1	◎	2		
Sophomore English BⅡ		1	◎	2		
フランス語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1	このうちから6単位を選択(次ページに続く) ベーシックについては原則Ⅰ・Ⅱを同一年度に履修すること	
フランス語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1		
フランス語(アドバンス)		2	▽	1		
ドイツ語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1		
ドイツ語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1		
ドイツ語(アドバンス)		2	▽	1		
スペイン語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1		
スペイン語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1		
スペイン語(アドバンス)		2	▽	1		
中国語(ベーシック)Ⅰ		2	▽	1		
中国語(ベーシック)Ⅱ		2	▽	1		
中国語(アドバンス)		2	▽	1		
韓国語(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1			
韓国語(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1			
韓国語(アドバンス)	2	▽	1			
手話(ベーシック)Ⅰ	2	▽	1			
手話(ベーシック)Ⅱ	2	▽	1			
手話(アドバンス)	2	▽	1			

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部共通科目	コミュニケーションスキーズ科目	TOEIC対策講座	1	▽	2		※1 4年生は履修できない場合がある (前ページからの続き) このうちから6単位を選択
		海外英語実習	2	▽	1	△※1	
		コミュニケーション英文法	2	▽	2		
		English for Communication and Discussion	2	▽	2		
		Presenting in English	2	▽	3		
		English for World Affairs	2	▽	2		
		English for Tourism	2	▽	2		
		English for Business	2	▽	2		
		English for Journalism	2	▽	2		
		Airline English	2	▽	2		
		Psychology in Romance Movies	2	▽	2		
		Culture and History through Movies	2	▽	2		
		Exploring Novels through Movies	2	▽	2		
		English in Pop Culture	2	▽	1		
		English through Music	2	▽	1		
	コミュニケーションのための韓国語	2	▽	2			
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2	▽	2			
	留学のための韓国語	2	▽	2			
	日本語A I	1		1	※2	※2 留学生およびそれに準ずると大学が認めた者のみ履修可	
	日本語A II	1		1	※2		
	日本語B I	1		1	※2		
	日本語B II	1		1	※2		
	日本語C I	1		1	※2		
	日本語C II	1		1	※2		
	日本語C III	1		1	※2		
	共通教養科目	日本国憲法	2		1		
		哲学概論	2		2		
		倫理と人権	2		1		
		健康心理学	2		2		
		教養のための歴史	2		1		
		生命と人間の歴史	2		2		
		教養のための自然科学	2		1		
教養のための芸術A		2		1			
教養のための芸術B		2		1			
アクティブラーニング科目	フィールドワークA	2		2	△	「プロジェクト学習C」またはキリスト教基礎科目(「キリスト教概論」を除く)から2単位を選択 ※1 4年生は履修できない場合がある	
	フィールドワークB	2		2	△		
	フィールドワークC	2		2	△		
	プロジェクト学習A	2		2	△		
	プロジェクト学習B	2		2	△		
	プロジェクト学習C	2	▽	2	△		
	プロジェクト学習D	2		2	△		
	プロジェクト学習E	2		2	△		
	プロジェクト学習F	2		2	△		
	海外研修A	2		2	△※1		
	海外研修B	2		2	△※1		
	歴史文化研修A	2		2	△		
	歴史文化研修B	2		2	△		
	インターンシップ	2		2	△		

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
学部共通科目	教養科目（総合心理学科オープン科目）	心理学概論Ⅰ	2		1			
		心理学概論Ⅱ	2		1			
		社会学概論Ⅰ	2		1			
		社会学概論Ⅱ	2		1			
		宗教学概論Ⅰ	2		1			
		宗教学概論Ⅱ	2		1			
		教育学概論Ⅰ	2		1			
		教育学概論Ⅱ	2		1			
		科学概論	2		1			
		臨床心理学概論	2		1			
		発達心理学	2		1			
		教育心理学	2		2			
		青年心理学	2		2			
		メディア心理学	2		2			
		恋愛心理学	2		3			
		児童発達心理学	2		2			
		感情・人格心理学	2		2			
		神経・生理心理学	2		2			
		障害者・障害児心理学	2		2			
		学習・言語心理学	2		2			
		知覚・認知心理学	2		1			
		社会・集団・家族心理学	2		2			
		色彩・造形心理学	2		2			
		親子の臨床心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		発達心理学各論A	2		2			
		心理学特殊講義	2		2			
		対人社会心理学	2		2		※	※子ども教育学科は履修不可
		臨床心理学各論A	2		3			
		臨床心理学各論B	2		2			
		臨床心理学各論C	2		2			
		家族関係論	2		1			
		家族と社会	2		1			
		宗教社会学	2		2			
		死生学概論	2		1			
		生命倫理	2		2			
		女性教育論	2		2			
		教育相談(中・高)	2		3		※	※子ども教育学科は履修不可
		特別支援教育	2		3			
		教育工学	2		3			
		AI概論	2		2			
		AI演習	2		2			
教養科目（子ども教育学科オープン科目）	キリスト教人間形成論	2		3				
	キリスト教保育	2		3				
	教育思想史	2		1				
	保育教育原理	2		1				
	保育者論	2		1				
	子ども家庭支援論	2		2				
	社会的養護Ⅰ	2		2				
	子ども家庭支援の心理学	2		3				
	子どもの心理と発達Ⅰ	2		2				
	幼児の理解と教育の方法	2		2				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考		
教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	乳児保育 I	2		2		※4年生は履修できない場合がある		
	子ども家庭福祉	2		1				
	社会福祉	2		1				
	子どもソーシャルワーク	2		3	△			
	インクルーシブ教育	2		3				
	子どもと自然	2		2				
	世界の子ども教育	2		2				
	子どもと国際社会	2		2				
	Speaking English with Children	2		3				
	子どもの感性とアート	2		2				
	子どものアートとサイエンス	2		3				
	子どもと文化	2		2				
	アートプロジェクト論	2		2				
	あそびと創造のデザイン学	2		2				
	子どもとパフォーマンスアート	2		2				
	子どもフィールドワークA	2		3	△※			
	子どもフィールドワークB	2		3				
	子どもフィールドワークC	2		2	△※			
	学部 共通科目	博物館概論	2		2		△	* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能 (学部共通科目の選択科目10単位に加えることは不可)
		博物館資料論	2		2		△	
博物館資料保存論		2		2	△			
博物館教育論		2		2	△			
博物館情報・メディア論		2		2	△			
博物館経営論		2		2	△			
博物館展示論		2		2				
博物館実習 I		1		3	☆			
博物館実習 II		2		3	☆			
生涯学習概論		2		2				
生活のなかの図書館		2		1				
図書館情報技術論		2		2	☆			
図書館制度・経営論		2		3	☆			
生涯学習社会と図書館サービス		2		2				
情報サービス論		2		3	☆			
情報資源組織論		2		3	☆			
情報資源組織演習 I		1		3	☆			
情報資源組織演習 II		1		3	☆			
子どもの読書支援		2		3				
情報サービス演習 I		1		3	☆			
情報サービス演習 II		1		3	☆			
図書館の比較文化論		2		2				
図書館情報資源概論		2		2				
図書・図書館史		2		1				
図書館情報資源特論		2		2				
社会調査の基礎		2		1				
社会調査法		2		1				
データで読む社会		2		2				
統計学		2		2				
フィールド調査法		2		2				
社会調査演習 I	2		3					
社会調査演習 II	2		3					

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学部 共通科目	共通資格科目	日本語教育法A I	2		1		* 共通資格科目を修得した場合、自由選択科目として14単位まで加えることが可能(学部共通科目の選択科目10単位に加えることは不可) ※1 日本語教育法D I / D IIは、日本語教育法B I / B IIの少なくともどちらか一方を履修済み、または同時履修の場合のみ履修可 ※2 子ども教育学科は履修不可
		日本語教育法A II	2		1		
		日本語教育法B I	2		2		
		日本語教育法B II	2		2		
		日本語教育法C I	2		2		
		日本語教育法C II	2		2		
		日本語教育法D I	2		2	※1	
		日本語教育法D II	2		2	※1	
		日本語教育法E I	2		2		
		日本語教育法E II	2		2		
		教職の理解	2		2	※2	
		教育課程論	2		2	※2	
		道徳教育の理論と実践	2		2	※2	
		特別活動と総合的な学習の時間	2		2	※2	
		教育の方法と技術	2		2	※2	
		生徒・進路指導の理論と方法	2		2	※2	
		ICT演習	2		2	※2	
		学校体験	1		2	※2	
		介護等体験	1		3	※2	
		教育実習 I	1		4	※2	
教育実習 II	2		4	※2			
教育実習 III	2		4	※2			
教職実践演習(中・高)	2		4	※2			
教育社会学(中・高)	2		2	※2			
学科 専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナール I	2	◎	2	×	このページと次のページの▽から「国際関係入門」を含む16単位を選択
		基礎ゼミナール II	2	◎	2	×	
		ゼミナール I	2	◎	3	×	
		ゼミナール II	2	◎	3	×	
		ゼミナール III	2	◎	4	×	
		ゼミナール IV	2	◎	4	×	
	学科基礎科目	21世紀の国際社会をみる視点	2	◎	1	×	
		国際社会学	2	◎	1		
		世界地誌	2	▽	1		
		外国史概説	2		1		
		日本史概説	2		1		
		人文地理学	2		1		
	自然地理学	2		1			
	国際関係関連科目	国際関係入門	2	▽	1		
		政治学	2	▽	1		
		マクロ経済学	2	▽	1		
		ミクロ経済学	2	▽	1		
		ニュースを読む	2	▽	2		
		国際協力論	2	▽	2		
		国際関係史	2	▽	2		
国際関係論		2	▽	2			
国際機構論		2	▽	2			
国際経済論		2	▽	2			
国際法		2	▽	2			
地球規模問題		2	▽	3			
公共政策論		2	▽	3			
法学		2		1			
安全保障論	2		3				

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

科目区分	授業科目	単位	必修	履修開始年次 表記された学年 以上で履修可能	履修制限	備考	
学科専門科目	異文化理解関連科目	宗教と国際社会	2	▽	2		このページと前のページの▽から「国際関係入門」を含む16単位を選択
		観光と社会	2		2		
		多様性の社会思想	2		1		
		多文化社会論	2		2		
		異文化間コミュニケーション入門	2		1		
		文化人類学	2		1		
		比較文化論	2		2		
		グローバル時代のコミュニケーション	2		2		
		グローバリゼーションと文化	2		2		
	外国語コミュニケーション関連科目	英語学概論A	2		2		※2年次後期および3年次留学希望者のみ履修可
		英語学概論B	2		2		
		英語文学入門A	2		1		
		英語文学入門B	2		1		
		英語児童文学	2		1		
		英語で紹介する日本A	2		1		
		英語で紹介する日本B	2		1		
		第二言語習得概論Ⅰ	2		2		
		第二言語習得概論Ⅱ	2		2		
		通訳トレーニング	2		3		
		翻訳トレーニング	2		3		
		English for Study Abroad A	2		1		
		English for Study Abroad B	2		1		
		English as an International Language	2		2		
	English for Integrated Learning Ⅰ	2		2			
	English for Integrated Learning Ⅱ	2		2			
	Education around the World	2		2			
	English for Intercultural Understanding	2		2			
	留学準備講座	2		2	※		
	エリアスタディーズ科目	北米入門	2		1		
		現代の北米	2		2		
		ヨーロッパ・EU入門	2		1		
		現代のヨーロッパ・EU	2		2		
		北東アジア入門	2		1		
東南アジア入門		2		1			
現代のアジア		2		2			
オセアニア入門		2		1			
現代のオセアニア		2		2			
グローバルサウス論		2		2			
日本文化入門A		2		1			
日本文化入門B		2		1			
ホスピタリティ論		2		2			
ポップカルチャー論		2		2			
韓国の社会と文化	2		2				
学科教職科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅰ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅱ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅲ	2		3	☆		
	英語科教育法Ⅳ	2		3	☆		

◎ 必修科目

▽ 選択必修科目

× 他学科の学生は履修不可

△ 人数制限する場合あり

☆ 各資格課程登録者に限る(詳細は、各資格課程の頁を参照)

※ 備考欄または表外に履修条件が記載されている

大学等名	東洋英和女学院大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	リベラルアーツのためのデータリテラシー(DaLLiA)	申請年度	令和 6 年度



リベラルアーツのためのデータリテラシー(Data Literacy for Liberal Arts: DaLLiA)取組概要

プログラムの目的	デジタル社会が進行するなかで、リベラルアーツの学びを深めていくうえでも、学生が数理・データサイエンス・AIの技術を適切に活用できることの重要性が増している。 学生がそれぞれの専門性に沿って、より自由に、確かに自分の世界を広げてゆけるためのリテラシーを身につけることを目指し、本プログラムを設置する。
身に付けられる能力	<ol style="list-style-type: none"> デジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付ける。 学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、現実社会を見据えた適切な判断ができるようになる。 データ・AIを活用するうえで求められる倫理について理解し、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、各自の専門性に沿って活用できるようになる。

